

# 新ましこ未来計画 町民アンケート報告書 (平成 29 年実施分)

平成 29 年 6 月

益子町 総務部 企画課

## 調査の概要

- ◆目的  
平成 28 年度から 5 年間の町の経営計画書となる「新ましこ未来計画（以下「新未来計画」）」では、めざすべき町の将来像「幸せな共同体・ましこ」を実現するための 5 年間で達成すべき目標指標として、基本目標に対しては「成果指標」を、施策に対しては「重要業績評価指標（Key Performance Indicator。以下「KPI」）を設定しました。  
本アンケートは、この成果指標、KPI のうち、アンケートにより捕捉する値の進捗度合を確認するために実施しました。  
本調査の値は、平成 28 年度の町施策実施後の成果に対する実績値（新未来計画実施前の基準値）として活用します。
- ◆調査対象  
本町在住の満 18 歳以上の男女  
3 地区（田野・益子・七井）の人口構成比率に応じ、住民基本台帳から無作為抽出。
- ◆標本数  
1,000
- ◆調査期間  
平成 29 年 4 月 28 日～5 月 12 日
- ◆有効回収数  
383（有効回収率：38.3%）。  
属性回答がなかった回答（1 標本）については、本報告書内では属性を特定しなかった複数回答の設問にのみ採用しました（2（2）、3（1）（2）、5（1）、6（3）（4）、7（1）（2））。
- ◆その他  
①回答実数は、設問ごとに記載しています。  
②本文中の「百分率」は小数点第 2 位を四捨五入しているため、または複数回答のため、数値の合計が 100 にならない場合があります。

## 1 回答者の属性

属性の無回答者を除いた 382 人の回答者構成比は男：43.2%、女：56.8%と女性がやや多くなっています（前回 男：47.9%、女：52.1%）。

回答者で最も多かった階層は、60～69 歳の男女で合わせて 25.1%でした（前回 60～69 歳：25.6%）。

図表 1 回答者の居住地区（問 1・問 2 回答実数：382）

| 男      | 益子・城内坂<br>・生田目地区 |        | 塙地区   |        | 上大羽・下大羽地区 |        | 七井・七井中央<br>・大沢・北中地区 |        |
|--------|------------------|--------|-------|--------|-----------|--------|---------------------|--------|
|        | 基数(人)            | 構成比(%) | 基数(人) | 構成比(%) | 基数(人)     | 構成比(%) | 基数(人)               | 構成比(%) |
| 18～19歳 | 2                | 1.2    | -     | -      | -         | -      | -                   | -      |
| 20～29歳 | 5                | 3.0    | 2     | 1.2    | 1         | 0.6    | 2                   | 1.2    |
| 30～39歳 | 9                | 5.5    | 3     | 1.8    | 1         | 0.6    | 1                   | 0.6    |
| 40～49歳 | 6                | 3.6    | 4     | 2.4    | 2         | 1.2    | 5                   | 3.0    |
| 50～59歳 | 4                | 2.4    | 13    | 7.9    | 2         | 1.2    | 7                   | 4.2    |
| 60～69歳 | 15               | 9.1    | 8     | 4.8    | 2         | 1.2    | 6                   | 3.6    |
| 70～79歳 | 7                | 4.2    | 6     | 3.6    | 3         | 1.8    | 5                   | 3.0    |
| 80歳以上  | 6                | 3.6    | -     | -      | 1         | 0.6    | 2                   | 1.2    |
| 合計     | 54               | 32.7   | 36    | 21.8   | 12        | 7.3    | 28                  | 17.0   |

| 男      | 小宅・芦沼<br>・大平地区 |        | 山本・大郷戸地区 |        | 長堤・上山・前沢<br>・小泉・本沼<br>・梅ヶ内・東田井地区 |        | 合計    |        |
|--------|----------------|--------|----------|--------|----------------------------------|--------|-------|--------|
|        | 基数(人)          | 構成比(%) | 基数(人)    | 構成比(%) | 基数(人)                            | 構成比(%) | 基数(人) | 構成比(%) |
| 18～19歳 | -              | -      | -        | -      | -                                | -      | 2     | 1.2    |
| 20～29歳 | -              | -      | 2        | 1.2    | 2                                | 1.2    | 14    | 8.5    |
| 30～39歳 | -              | -      | -        | -      | 4                                | 2.4    | 18    | 10.9   |
| 40～49歳 | 1              | 0.6    | -        | -      | 1                                | 0.6    | 19    | 11.5   |
| 50～59歳 | 1              | 0.6    | 1        | 0.6    | 2                                | 1.2    | 30    | 18.2   |
| 60～69歳 | 6              | 3.6    | -        | -      | 6                                | 3.6    | 43    | 26.1   |
| 70～79歳 | 1              | 0.6    | -        | -      | 6                                | 3.6    | 28    | 17.0   |
| 80歳以上  | -              | -      | 2        | 1.2    | -                                | -      | 11    | 6.7    |
| 合計     | 9              | 5.5    | 5        | 3.0    | 21                               | 12.7   | 165   | 100.0  |

| 女      | 益子・城内坂<br>・生田目地区 |        | 塙地区   |        | 上大羽・下大羽地区 |        | 七井・七井中央<br>・大沢・北中地区 |        |
|--------|------------------|--------|-------|--------|-----------|--------|---------------------|--------|
|        | 基数(人)            | 構成比(%) | 基数(人) | 構成比(%) | 基数(人)     | 構成比(%) | 基数(人)               | 構成比(%) |
| 18～19歳 | 3                | 1.4    | -     | -      | -         | -      | 2                   | 0.9    |
| 20～29歳 | 4                | 1.8    | 6     | 2.8    | -         | -      | 6                   | 2.8    |
| 30～39歳 | 5                | 2.3    | 5     | 2.3    | -         | -      | 9                   | 4.1    |
| 40～49歳 | 4                | 1.8    | 5     | 2.3    | 1         | 0.5    | 5                   | 2.3    |
| 50～59歳 | 13               | 6.0    | 7     | 3.2    | 2         | 0.9    | 6                   | 2.8    |
| 60～69歳 | 14               | 6.5    | 11    | 5.1    | 3         | 1.4    | 9                   | 4.1    |
| 70～79歳 | 12               | 5.5    | 4     | 1.8    | 1         | 0.5    | 8                   | 3.7    |
| 80歳以上  | 5                | 2.3    | 2     | 0.9    | 3         | 1.4    | 3                   | 1.4    |
| 合計     | 60               | 27.6   | 40    | 18.4   | 10        | 4.6    | 48                  | 22.1   |

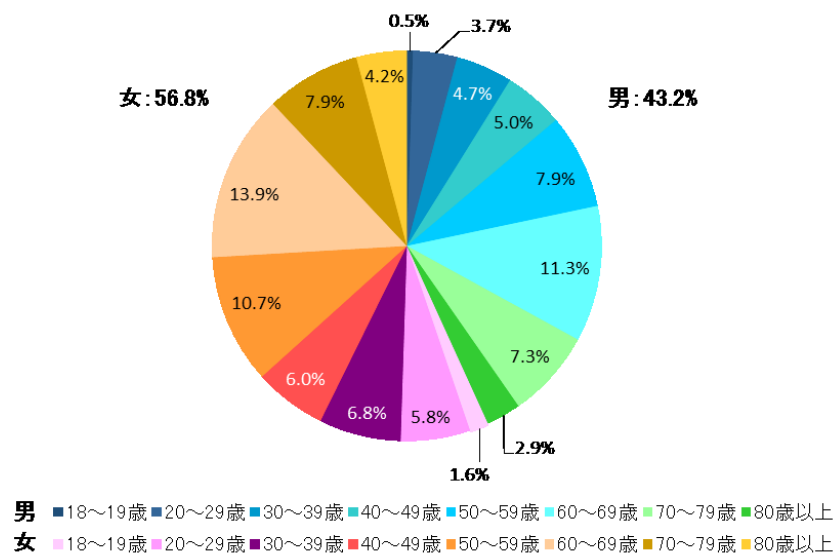
  

| 女      | 小宅・芦沼<br>・大平地区 |        | 山本・大郷戸地区 |        | 長堤・上山・前沢<br>・小泉・本沼<br>・梅ヶ内・東田井地区 |        | 合計    |        |
|--------|----------------|--------|----------|--------|----------------------------------|--------|-------|--------|
|        | 基数(人)          | 構成比(%) | 基数(人)    | 構成比(%) | 基数(人)                            | 構成比(%) | 基数(人) | 構成比(%) |
| 18～19歳 | -              | -      | -        | -      | 1                                | 0.5    | 6     | 2.8    |
| 20～29歳 | 1              | 0.5    | 2        | 0.9    | 3                                | 1.4    | 22    | 10.1   |
| 30～39歳 | -              | -      | 2        | 0.9    | 5                                | 2.3    | 26    | 12.0   |
| 40～49歳 | 3              | 1.4    | -        | -      | 5                                | 2.3    | 23    | 10.6   |
| 50～59歳 | 1              | 0.5    | 2        | 0.9    | 10                               | 4.6    | 41    | 18.9   |
| 60～69歳 | 2              | 0.9    | 5        | 2.3    | 9                                | 4.1    | 53    | 24.4   |
| 70～79歳 | -              | -      | -        | -      | 5                                | 2.3    | 30    | 13.8   |
| 80歳以上  | -              | -      | -        | -      | 3                                | 1.4    | 16    | 7.4    |
| 合計     | 7              | 3.2    | 11       | 5.1    | 41                               | 18.9   | 217   | 100.0  |

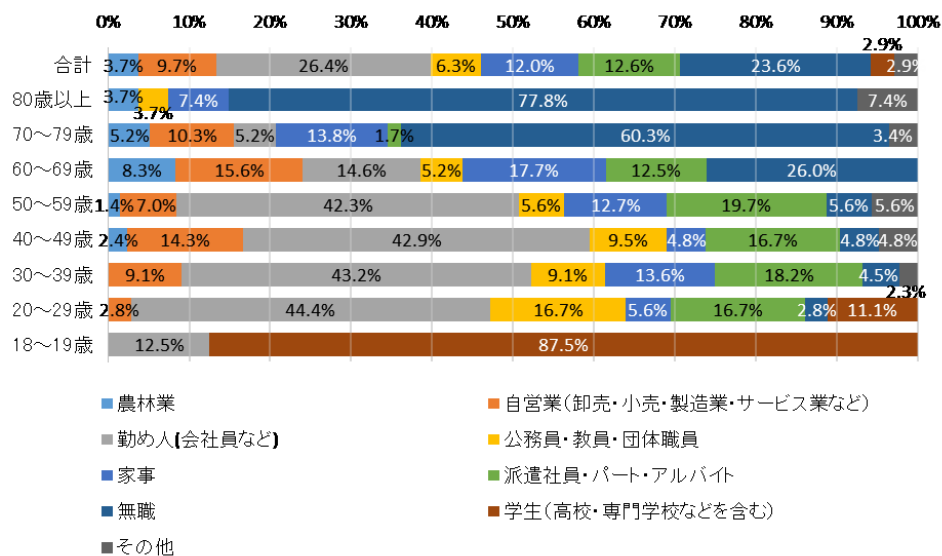
図表2 各年代の回答率（問3 回答実数：382）

| 年代     | 回答数 | 差出数   | 回答率   |
|--------|-----|-------|-------|
| 18～19歳 | 8   | 25    | 32.0% |
| 20～29歳 | 36  | 115   | 31.3% |
| 30～39歳 | 44  | 145   | 30.3% |
| 40～49歳 | 42  | 155   | 27.1% |
| 50～59歳 | 71  | 165   | 43.0% |
| 60～69歳 | 96  | 220   | 43.6% |
| 70～79歳 | 58  | 120   | 48.3% |
| 80歳以上  | 27  | 55    | 49.1% |
| 合計     | 382 | 1,000 | 38.2% |

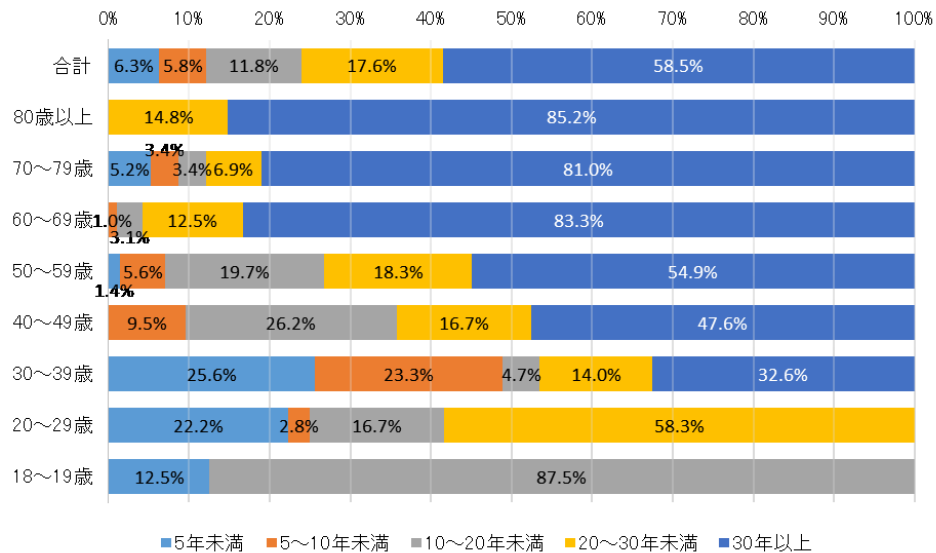
図表3 回答者の全体構成（問3 回答実数：382）



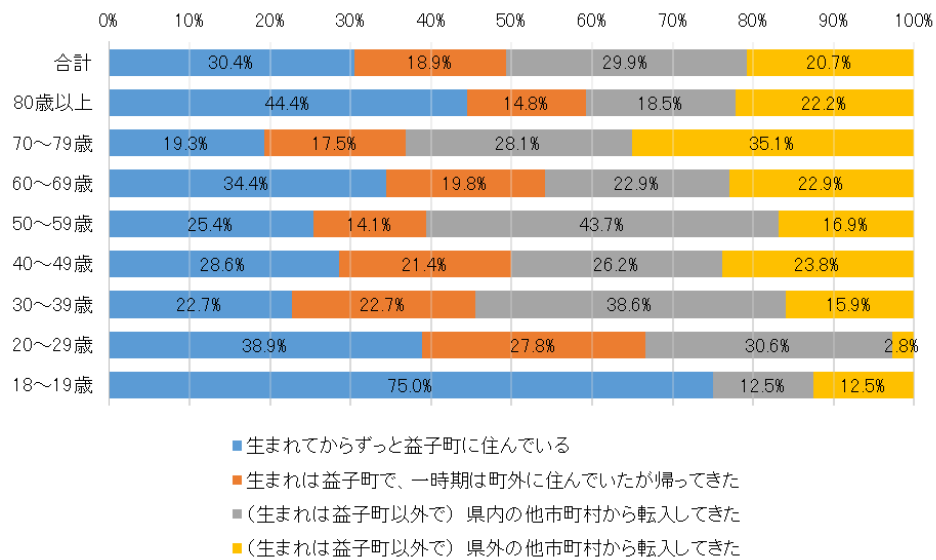
図表4 回答者の職業（問4 回答実数：382）



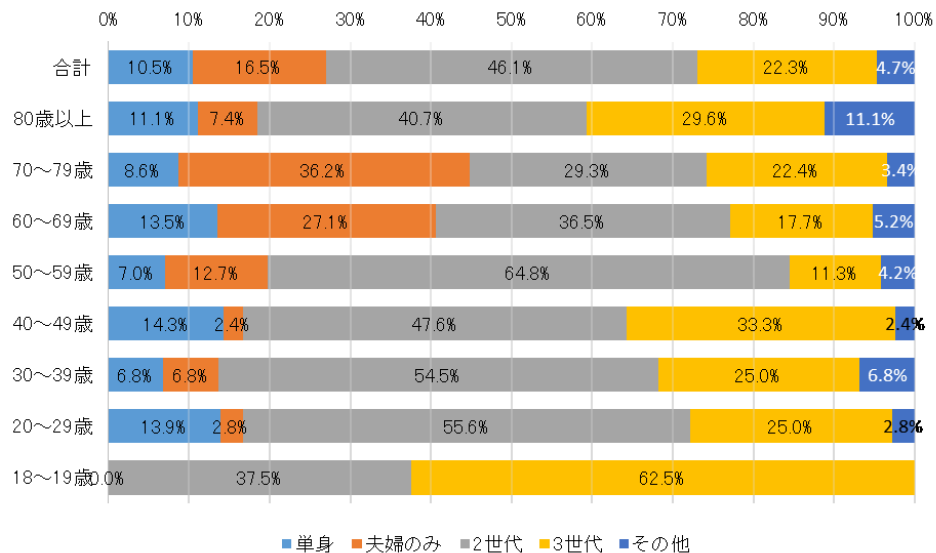
図表5 回答者の居住年数（問5 回答実数：381）



図表6 回答者の出身地（問6 回答実数：381）



図表7 回答者の家族構成（問7 回答実数：382）



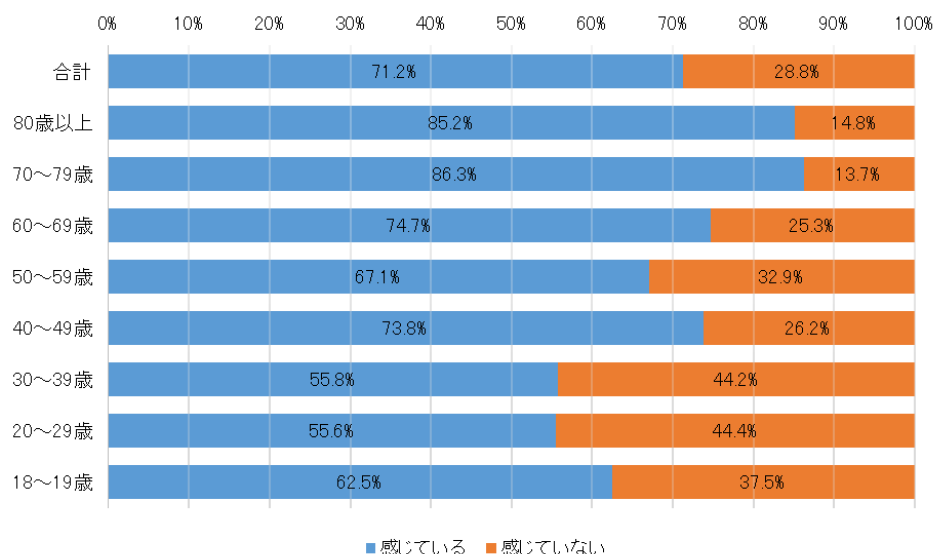
## 2 地域への愛着や誇りについて

### (1) 地域に対する愛着や誇りについて

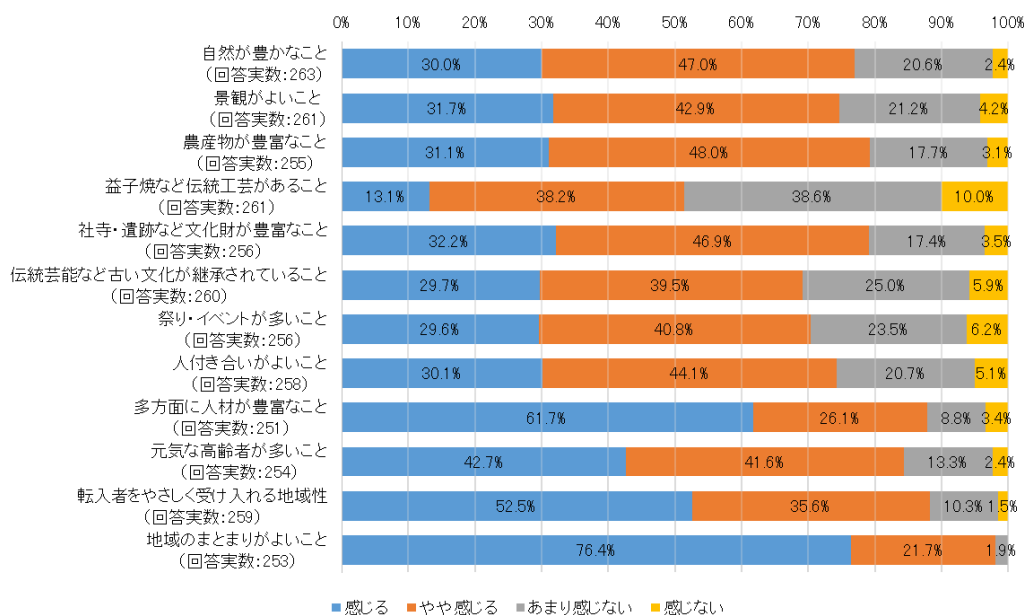
地域（自治会や大字程度の範囲）に対する愛着について、「感じている」と答えた方が全体の71.2%（前回：73.5%）となりました。

また、「感じている」と答えた方に「どのようなことに愛着や誇りを感じているか」を尋ねたところ、各項目ともおおむね7割を超える方が「感じる・やや感じる」と答えましたが、「益子焼など伝統工芸があること」の項目に対しては、5割強にとどまりました。

図表8 地域に愛着や誇りを感じている人の割合（問8 回答実数：372）



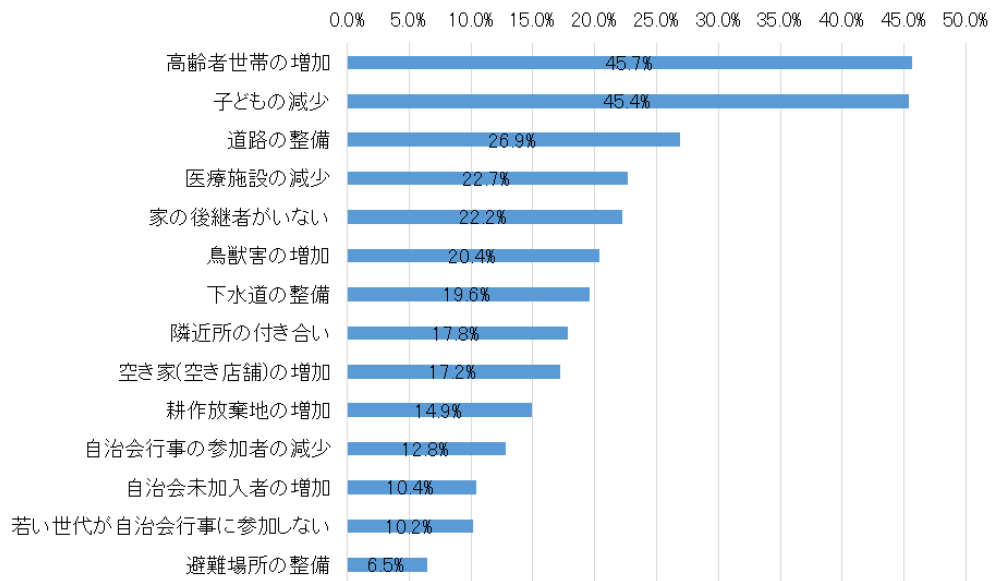
図表9 どのようなことに愛着や誇りを感じているか（問8-2）



(2) 住んでいる地域の課題、問題点、将来への不安について（問9）

少子化、高齢化について、4割を超える方が課題、問題点、将来の不安であるとしています。

図表 10 地域の課題、問題点、将来の不安について（回答実数：383 複数回答）



### 3 地域活動・社会貢献活動について

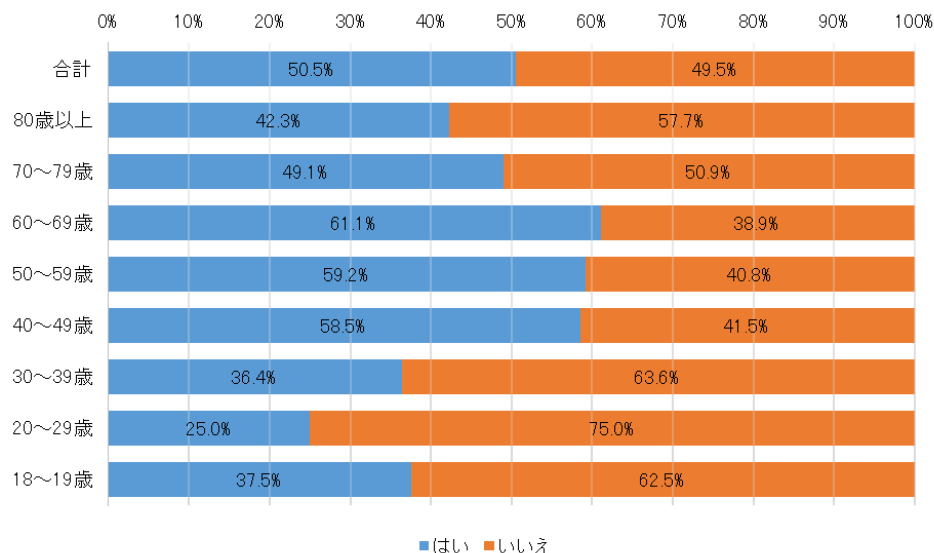
#### (1) 自分自身の地域活動・社会貢献活動について

5 割を超える方が「参加している・しようと思う」と答えました。

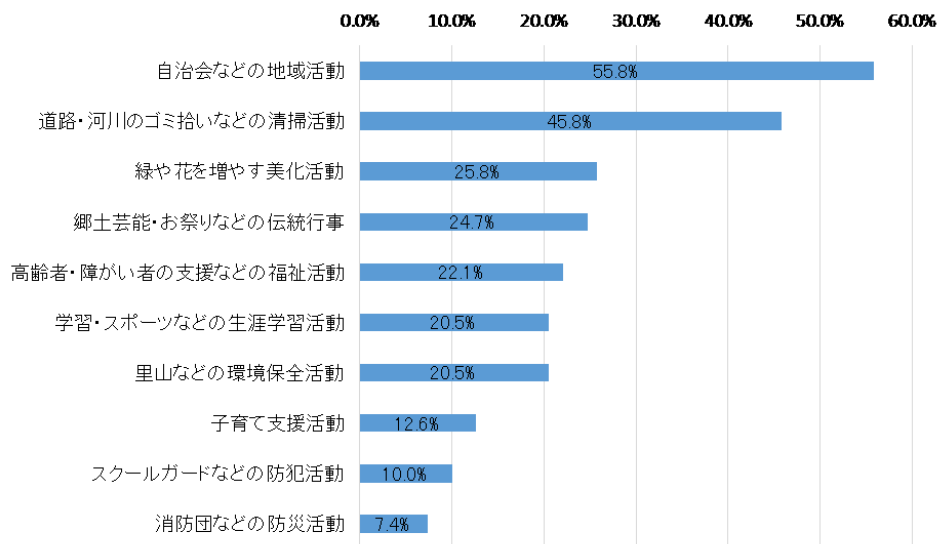
参加している分野などについては、「自治会などの地域活動」が最も高く、次いで「清掃活動」となりました。

また、「参加しない・できない」理由としては、「生活や時間に余裕がない」、「詳しい情報がわからない」が続きました。

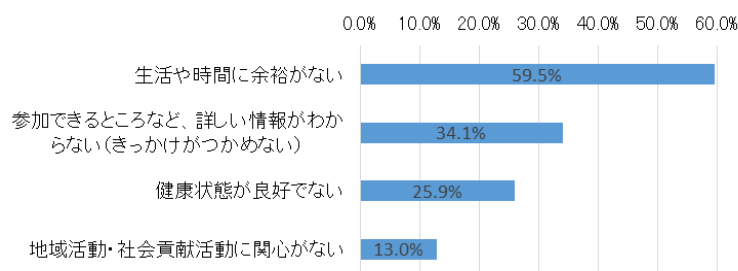
図表 11 地域活動への参加意識はあるか（問 11 回答実数：374）



図表 12 参加している・したい地域活動（問 11-2 回答実数：189 複数回答）



図表 13 参加しない・できない理由（問 11-3 回答実数：185 複数回答）

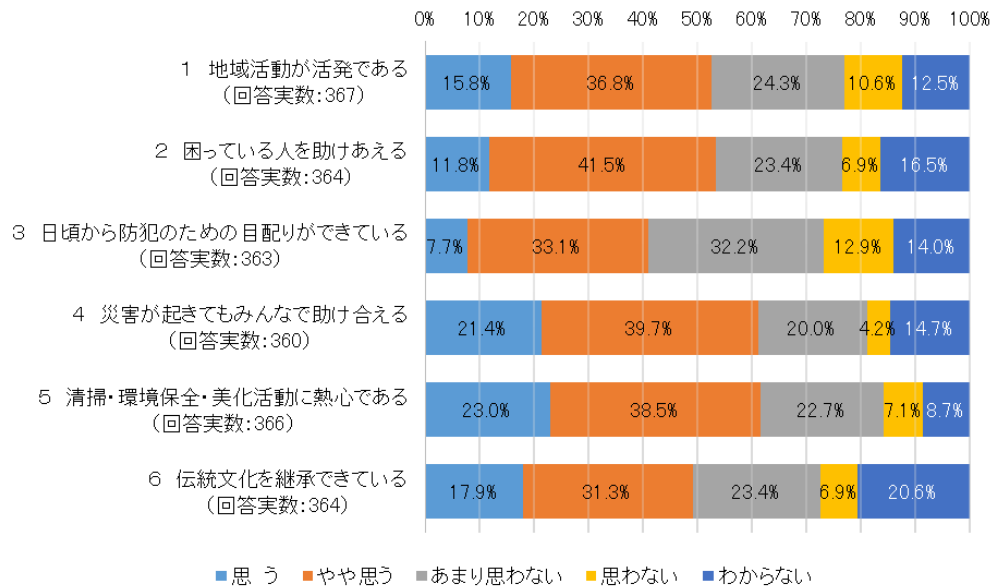




(2) 住んでいる地域の活動について (問 12)

「清掃などの環境美化活動」、「災害時の助け合い」については、約 6 割を超える方が自身の地域では行われている(思う・やや思うを含む)と回答しました。

図表 14 住んでいる地域の活動について



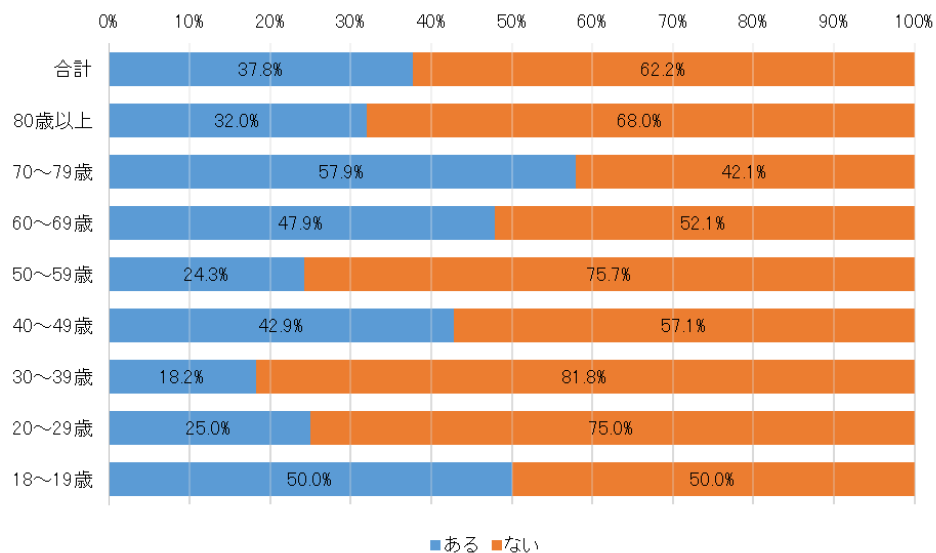
## 4 運動習慣について

### (1) 運動習慣について (問 13)

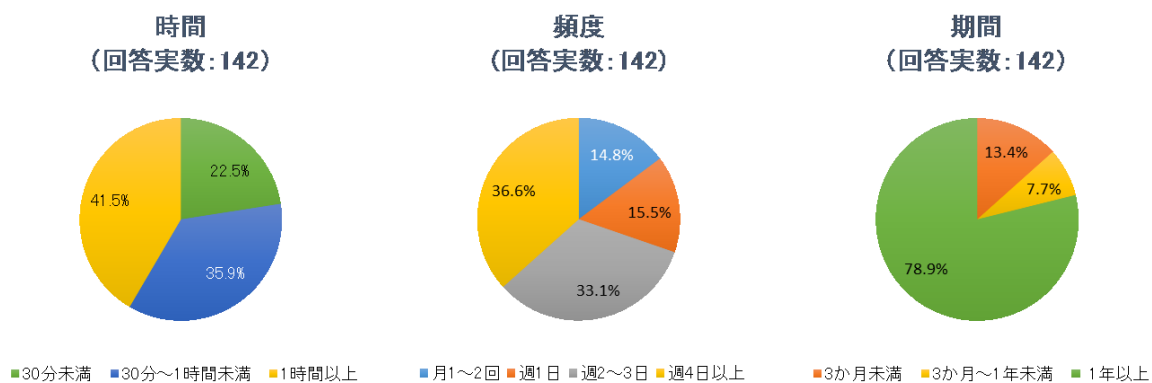
運動習慣については、37.8%(前回:39.6%)の方が「ある」と答えました。

新未来計画では「運動習慣者」を「1 回 30 分、週 2 回以上の運動を 1 年以上継続している方」と定義しましたが、この条件に合致する方は、全体の 17.2%(前回:18.0%)でした。

図表 15 運動習慣について (回答実数 : 376)



図表 16 運動習慣があると答えた方の時間、頻度、期間について

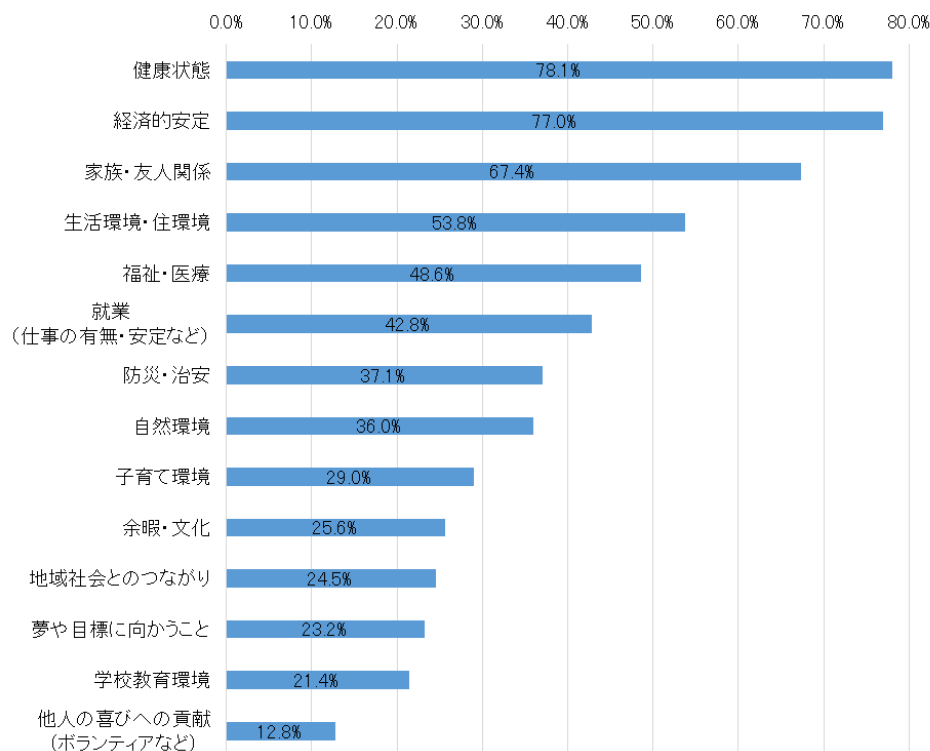


## 5 幸福感について

### (1) 「幸せである」と判断する重要事項について（問 14）

「健康状態」(78.1%、前回:74.8%)が最も高く、次いで「経済的安定」(77.0%、前回:77.5%)、「家族・友人関係」(67.4%、前回:65.5%)、「生活環境・住環境」(53.8%、前回:54.5%)、「福祉・医療」(48.6%、前回:47.3%)の順となりました。

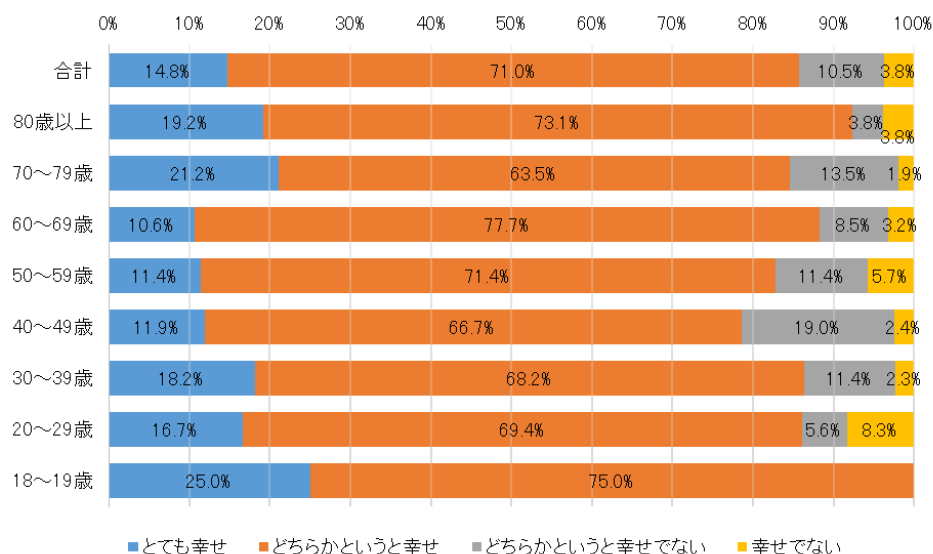
図表 17 「幸せである」と判断する重要事項について（回答実数：383 複数回答）



### (2) 現在の幸福感について（問 14-2）

「とても幸せ」「どちらかというと幸せ」を合わせた【幸福感】は、全体で 85.8%(前回:90.9%)でありました。

図表 18 現在の幸福感について（回答実数：372）

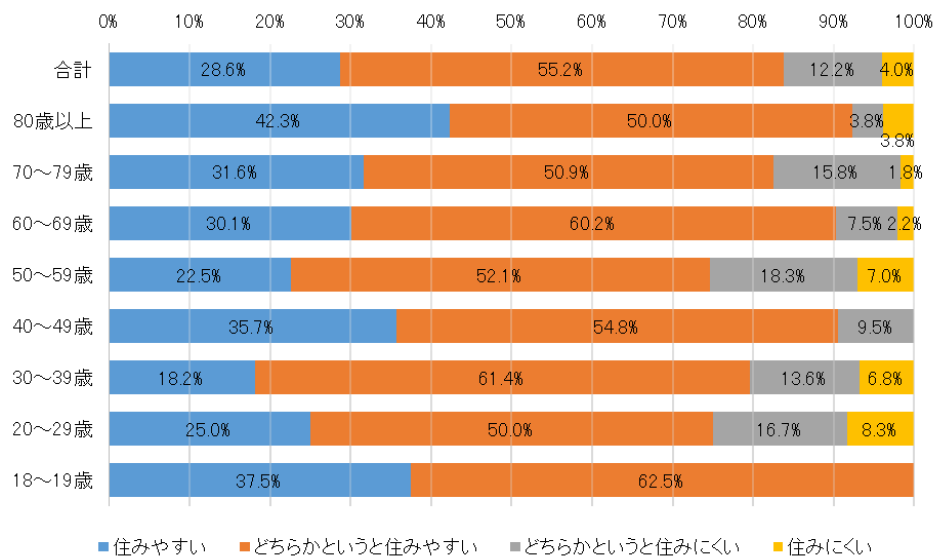


## 6 定住・住宅に対する意識について

### (1) 益子町での住みやすさについて（問 15）

「住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた【住みやすさ】は、全体で 83.8%（前回：86.9%）でありました。

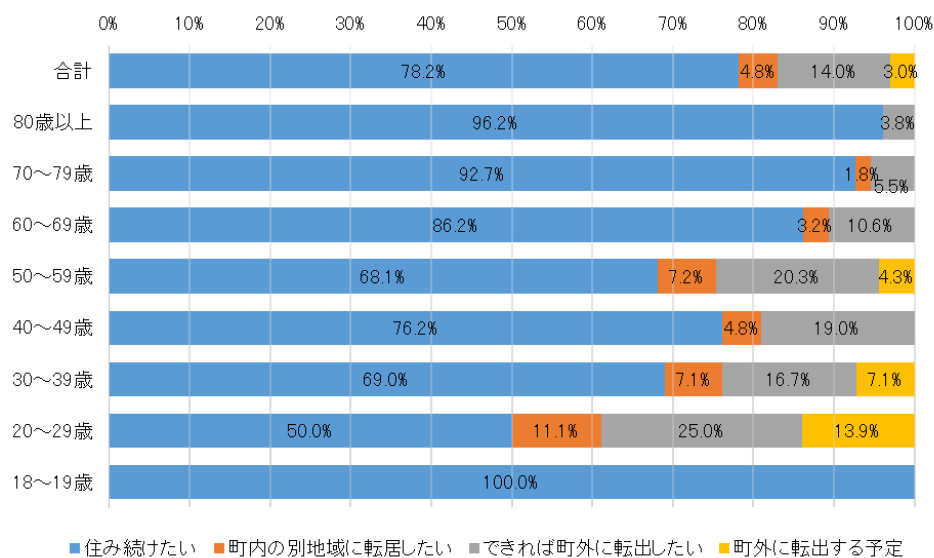
図表 19 益子町での住みやすさについて（回答実数：377）



### (2) 現在のところへの定住意識について（問 16）

「住み続けたい」は、全体の 78.2%（前回：85.1%）でありました。転出に対する意識は今回の調査では 20 歳代が最も高い結果となりました（前回は、10 歳代、20 歳代と続いた）。

図表 20 現在のところへの定住意識について（回答実数：372）

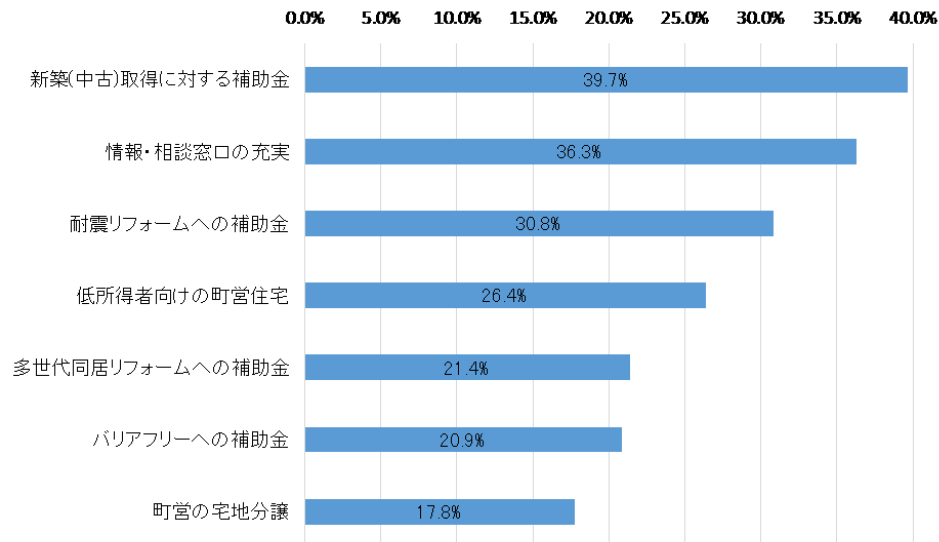


(3) 「定住・移住を促進する」ために重視する住宅政策について（問 17）

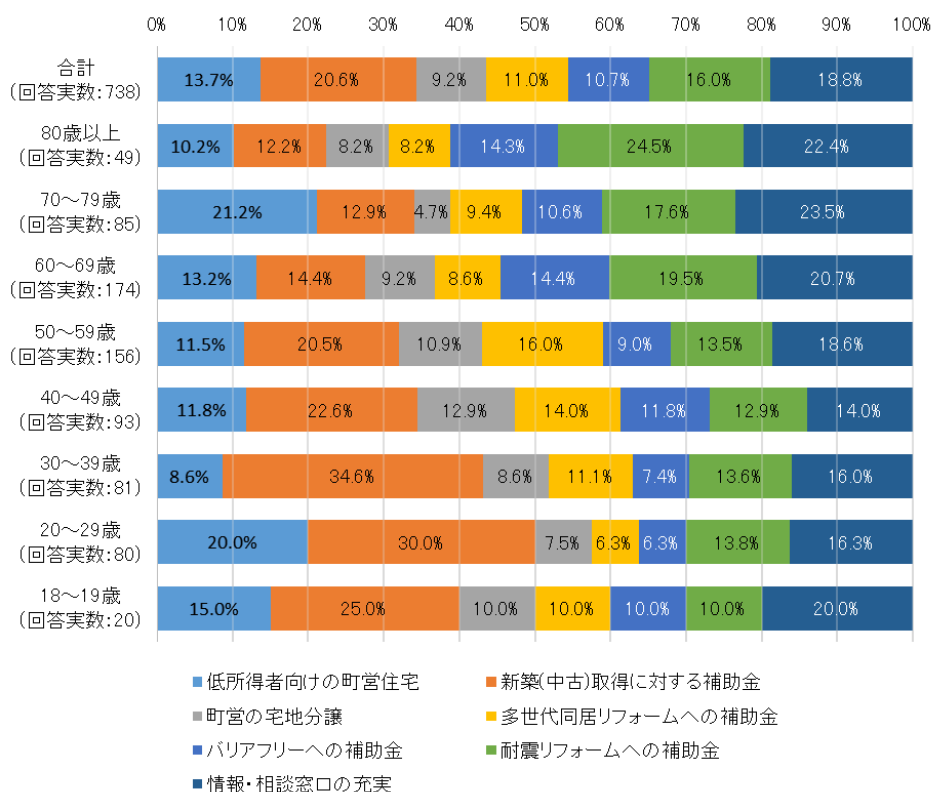
「新築(中古)取得に対する補助金」は、全体の 39.7%でありました。ついで、「情報・相談窓口の充実」「耐震リフォームへの補助金」が続きました。

年代別の回答実数に対する割合では、子育て世代である 20～40 歳代での「新築(中古)取得に対する補助金」に対する割合が高くなっています。

図表 21 「定住・移住を促進する」ために重視する住宅政策（回答実数：383 複数回答）



図表 22 「定住・移住を促進する」ために重視する住宅政策（回答実数に占める割合）

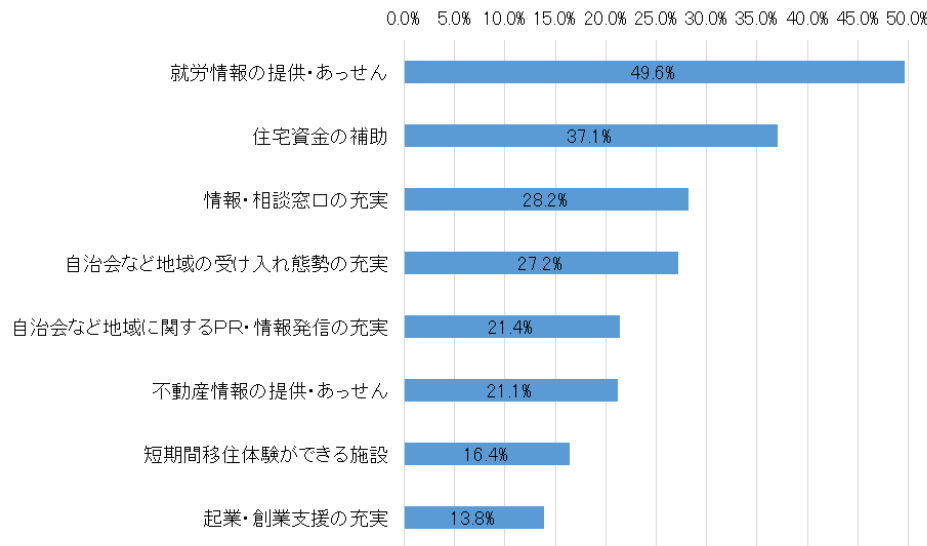


(4)「定住・移住を増やす」ために必要なことについて（問 18）

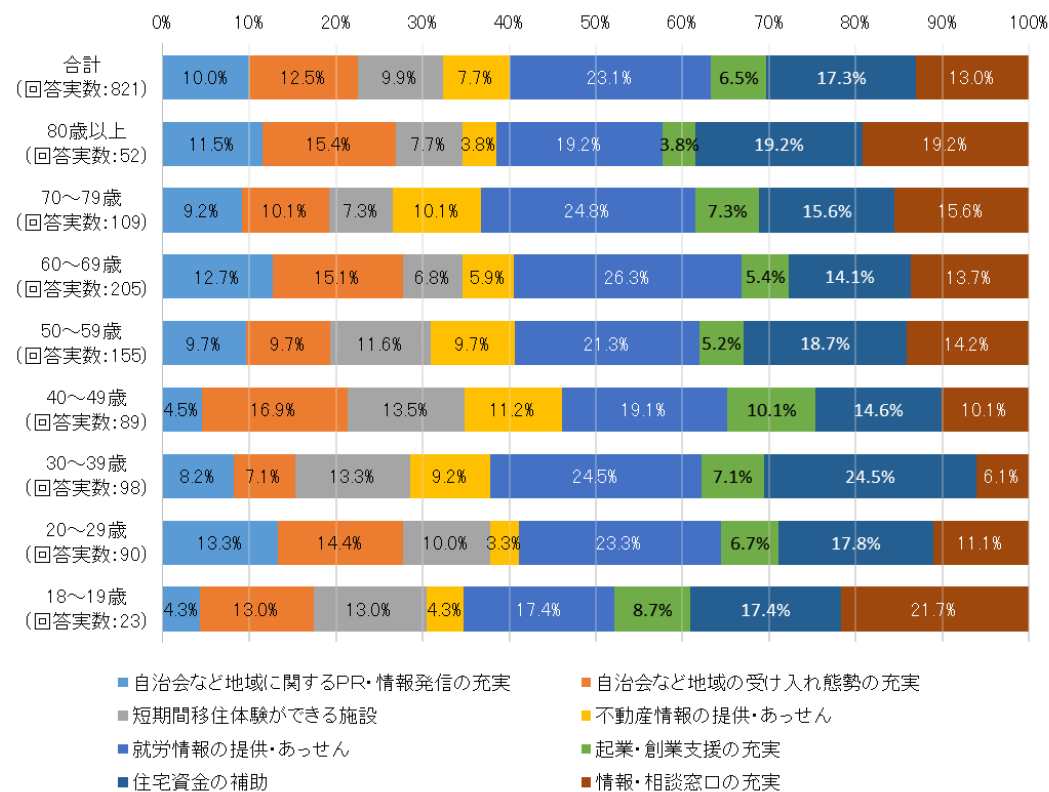
「就労情報の提供・あっせん」は、全体の 49.6%でありました。次いで「住宅資金の補助」「情報・相談窓口の充実」が続きました。

年代別の回答実数に対する割合では、全世代において「就労情報の提供・あっせん」に対する割合が最多となっています。

図表 23 「定住・移住を増やす」ために必要なこと（回答実数：383 複数回答）



図表 24 「定住・移住を増やす」ために必要なこと（回答実数に占める割合）

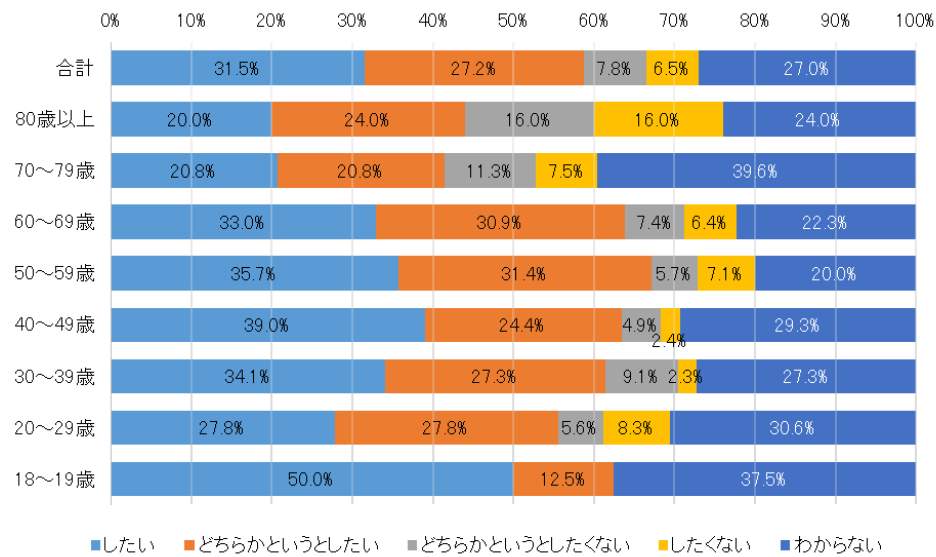


(5) 「空き家」の有効活用に対する意識について（問 19）

もし空き家を管理、所有することとなった場合に、現段階で有効活用についてどう考えているかの設問に対して、全体で 58.7%（「したい」「どちらかというしたい」を含む）の方が理解を示す結果となりました。

特に、50 歳代では約 3 分の 2 の方が理解を示しています。

図表 25 「空き家」の有効活用に対する意識について（回答実数：371）

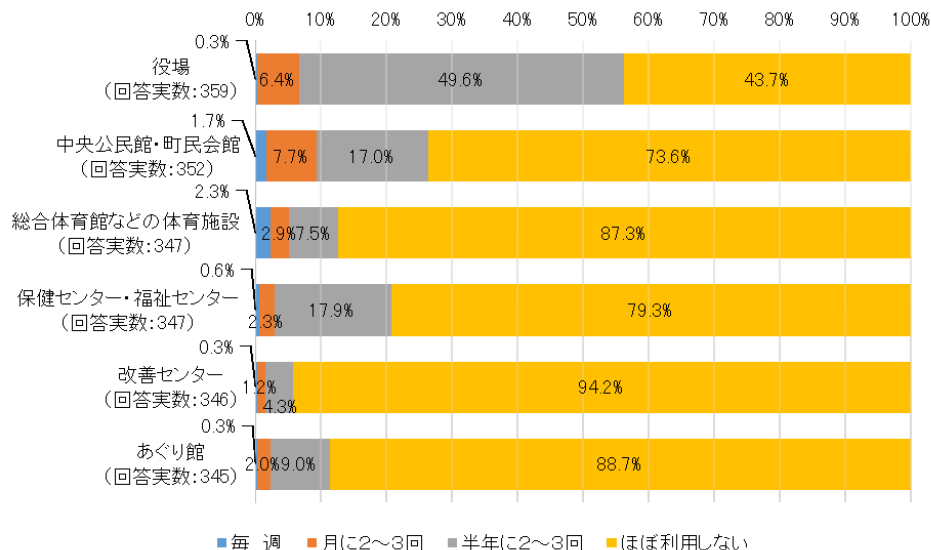


## 7 町職員に対する満足度などについて

### (1) 町内公共施設の利用状況について（問 20）

「毎週」利用の割合は「総合体育館などの体育施設」「中央公民館・町民会館」で 2%前後となっていますが、役場を含めた各施設の利用頻度は低い結果となりました。

図表 26 町内公共施設の利用状況について

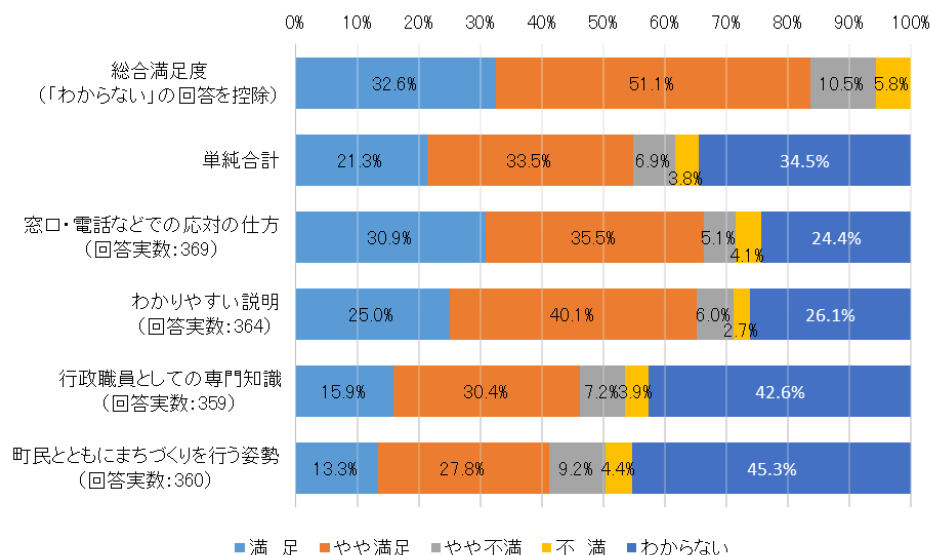


### (2) 町職員に対する満足度について（問 21）

総合満足度※1における【職員に対する満足度】は、「満足」「やや満足」を合わせて 83.7%（前回：75.5%）となりました。

※1 総合満足度の母数＝「回答実数」－「わからない」

図表 27 町職員に対する満足度について





## 8 自由回答（アンケート記載原文のまま）

同じ趣旨の短文回答（例：「自然が豊かだから」「自然がいい」「自然がよい」など）は、1つに整理しました。

### （1）地域のどのようなことに愛着や誇りを感じているか（問 8-2）

- 良い意味で他人に干渉しない。
- 益子ブランド 東京から日帰り圏 ほどよい田舎。
- 生まれが益子なので、他地域と比べても非常に人との交流が盛んで嬉しい。
- パンやカフェが多いところ。
- 昔から変わらぬ風景であること。
- 穏やかであること。
- 自分が生まれた場所だから。
- 焼き物が昔と比べて益子焼らしさがなくなり、さみしく感じる時がある。
- 変わらない田舎の風景（畑や田んぼ、山並み）。
- 住めば都で住んでいます。
- ほかに住んだことがないので比較できない。
- 転入者が誰だかわからない。
- 自分の地域のごみステーションにいつも物が置いてある（ビン、不燃物）。
- 若い人がいないのでこの先不安である。

### （2）住んでいる地域の課題、問題点、将来の不安について（問 9）

- 若い人が働く場所がない。
- 益子に住んでも仕事がなく帰郷できない。
- 不妊治療への補助金。
- 子どもの数に応じた補助金。
- 小中学校の雰囲気。
- 宅地が少ないため、移転者が少ない。
- 自治会が面倒。なくして行政がやるべきこと。
- 自治会の行事が多すぎる。
- 顔の知らない人が増えてめんどくさい。
- 消防団員の減少。
- バス・電車の本数が少ない。
- 遊ぶ場所がない。
- 通院・お店に行くのが不便。
- 車がないと暮らせない。仕事が町に行かないとない。
- 交通の便が悪い 店がほとんどない。
- 街灯がない。
- ゴミの分別が難しい
- 燃えるごみ置き場の整備が不十分。
- 小児科がない。
- 医療機関は真岡市内で利用。
- 老人施設の加入。
- 解決策が見つからない（特に、耕作放棄地の件）。先祖代々の田畑をどうしたらよいのか頭が痛いです。
- 障がい者の福祉施設が少ない
- 障がい者の地域での生活
- 猪害がひどく、狩猟者への補助がほしい。

### （3）課題や問題点などを仲間や地域で解決する方策（問 10）

- 近所で声を掛け合う。

- 高齢者世帯が多くて子供たちが少ないので、地域の発展がなくなってしまうのではと危惧する。
- 地域のつながりを密にするため、個人が積極的に声掛け、隣近所と仲良くする。
- 地域は一人のために、一人は地域のために何かできるよう、自治会会員宅を訪問する役職が必要だと思う
- 周囲の人と挨拶程度で終わってしまうので地域との交わりが少ない。自治会だけのイベント等を実施すれば交流が持てる気がする。
- 若い世代の自治会参加については、活動内容をビラで告知、参加しやすい雰囲気づくり。
- 最近住宅が増えてきています。隣でも挨拶がないこと残念でなりません。この山の田舎にあいさつがないのはどうかと思いますが。人間 1 人では生きられないことを知ってもらいたい。
- 行事の参加者が減ってしまうと守っていきたい伝統行事も守れるのか不安になるため、皆が参加したくなる案がほしい。積極的になれる方法はないだろうか。
- うちの近くの道のこと、空き家のことなどは仲間内だけでは難しいです。
- 最初は各自自治会内にて対策等を協議し、実施できるものは実施する。自治会内で不可能と思われる課題等については町(役場)に案を提出する。町(役場)は各案件を共有し方向付け及び実施する。専門機関の設置が必要か。
- 高齢者しかいない家など、定期的に見まわれる人がいればいいと思う。
- 自治会役員さんだけの負担にならないようにするにはどうしたらいいか。年に1回ある総会を最小単位の班ごとに必ず出席してもらって集まっているんな意見を聞いてみる。
- 鳥獣による害の増加や後継者不足による耕作放棄地の増加。
- 環境保全活動参加者の協力で景観が見違えるほどよくなった。これは継続したい。
- 家の周りの問題点と言えば、前の家は住んでいなく、木は生い茂り草は伸び放題。家族の方は何をするわけでもなく、樺の木も伸び放題でカラスが巣をつくり子どもがいるので怖い。あとは、朝夜中関係なくごみを燃やしている家があります。臭くてたまらない。道も小学生が利用するので危なくひやひやすることが多々あります。
- 高齢者世帯は増加し、外に進んで出ない高齢者が多い。せっかくデマンドタクシーに登録しても呼ぶのが面倒だということで利用しない。一度も利用しないうちに無料タクシー券を配布したり声をかけたりして自分から外出するよう促した方がよいと思う。
- 私の住んでいる組は 22 世帯です。以前は親睦旅行もしました。平成 21 年隅田川下り、靖国神社、千鳥ヶ淵の桜、平成 23 年にはゴンドラで行く紅葉狩り等。高齢化のため自治会役員選出も困難な状態です。子どもは小中高生で 7 人です。現在いきいきクラブ設立のため会員を募集しています。
- デマンドタクシーの医療版で病院や皮膚科、耳鼻科などの送迎をする。シルバーボランティアの活用。
- 高齢者の健康維持の奨励など、地域行事があれば自治会ごとでも参加しやすいのでは。
- 地域ではどうにもならないが専門分野の医療施設が皆無
- 現代において自然なことなのではないかと思う。
- 都会と変わらない。付き合いがない。
- 地主不明の土地が多い(草・木の手入れが行き届いていない)
- 高齢者になったときの交通機関が不安。
- 空き家については、安く売ったりリフォーム費の援助をして外から移住する人でも住みやすいようにする。
- 空き家の仲介。
- 郷道を使用していて救急車が通行できない。緊急時に困る(不安である)。

#### (4) 益子町の住みやすさについて (問 15)

##### ①住みやすい理由

- 益子しかない
- 生まれ育って何十年ですからどこへ行くこともない。
- 今のところに満足しているから。
- 現状は特に問題及び不自由と感ずることが少ないため。
- 静かでのどかであるため。
- 自然環境が良い 人付き合いが良い
- 自然が豊かで伝統を引き継ぎつつ、商業施設も増えて住みやすくなったから。

- 自然が豊かで職場へも通勤しやすい。
- 人の付き合いがいい
- 協調性と協力性
- 地域の連帯感が強い。
- いろいろな考え方の人たちがいて息苦しくない。
- 人々が穏やかで人情味が深い。
- 気心の知れる人が多いから。
- スーパー、コンビニ、ガソリンスタンド、観光地である。
- 道路の流れがよい。店がそこそこある。都市が海、山(レジャー)への距離がまあまあ近い。高速へのアクセスがまあまあ良い。
- 商業施設までの距離・アクセス、また自然が多い。
- 職場まで近く、日常の買い物もでき、心地よい住居と周辺環境がいいから。
- 車があれば不便はないため。また焼き物が盛んである。
- スーパー、病院、公共施設などに便利
- 便利なところ。
- 田舎だが町内に出れば何でもそろそろ。
- 高齢化とともにバス停、駅、病院近く。特に環境・自然の良さ。
- 高齢者のためのふれあいサロン・まじこクラブ・デマンドタクシーがあり、安心して生活できる。
- 町の環境が職業と合致している
- 災害が少ない

## ②住みにくい理由

- 生活環境が悪い。
- 蛇が多くて家の中に入ってくるので、戸は夏でも閉めたままです。
- 公共交通手段がないので高齢者に限らず子どもたちも通学手段がないので困る。
- 職業が違ふと意思疎通がない。
- 新旧住人で価値観や考え方の違いを感じる時がある
- 大人のいじめ
- 隣近所関係。
- 毎日一人で不安な生活だから。
- 下水道の計画が全くない。
- 道路が狭い。交通機関が乏しい。都市部から遠い。
- 車のとおりが多い割には歩道がなく危ない。近所に病院がなく遠くまで行かなくてはならない。
- 昔から比べると交通が激しく、家の出入りが悪くなり騒音が激しい。
- 何もない。道路も暗いし外灯を増やして
- 物価が高い
- 自然は豊かだが、何をするにも不便である。
- 近くにスーパー、スタンドがない。
- 公共交通がなさすぎる。
- 買い物に行くのが遠い。高齢のため。
- 移動するのに必ず車が必要で、近くにコンビニなどがない。
- 他の町より住民税だか何だかが高いと聞きました。
- 店が少ない 危険個所が多い
- 車がないとどこにも行けない
- コンビニ・スーパー遠い
- 車が乗れなくなったらどうするのか。
- 自分が住んでいるところから駅が遠い。車がないとどこへも行けない。
- 公共交通の便が悪い。車がないと外出不可能。
- 周辺の市町の方がいろいろ充実していると思う。例えば益子の道の駅は1回も行ったことがないし、行きたいとも思わない。

- 役場と保健センターが離れていること。車がないとどこにも行けないこと。
- 宇都宮など中心地が遠く、駅(JR)なども遠いため、不便さを感じる。
- スーパーやガソリンスタンド、医院。何もなく車が運転できなくなったらどうやって生活してよいか不安。若い人が一緒に住みたがらない。
- 福祉の充実と運動ができる場所(広い公園や安全なウォーキングコース等)がない。
- 医療者がいない。名医が少ない。
- 高齢者に優しくない町だと思います。
- 子育て世代にはあまり優しくないと感じるため。

#### (6) 住み続けたい理由について (問 16)

##### ①住み続けたい

- 益子しかない
- 自宅で住んでいるから。
- 慣れ親しんだ地なので、これからも住み続けたい。
- 高齢で今のままでよい。
- 家族がいるから。
- 住めば都
- 自宅(持家)がある。自治会役員の関係が良好。
- 生まれ育った町だから。
- 終の棲家に最高。
- 今のところに満足しているから。
- 住み続けるしかないのですが、益子が好きなので。
- 代々続いているから
- 自然の中に住まいがあるから。
- 周りの環境がよい。
- 自然豊かで安心して住むことができる。
- 伝統行事を守りたい。益子町にしかない文化・自然がある。
- 自然が豊かで職場へも通勤しやすい。
- 隣近所と仲良くコミュニケーションがよい。
- 友がたくさんいること。
- 仕事環境が整っている、近所付き合い良好
- 職場まで近く、日常の買い物もでき、心地よい住居と周辺的环境がいいから。
- 心穏やかに日々送っている。
- 田舎が好きだから。
- 風土が好き。
- 地域の人が優しいから
- 近所づきあいが良好で、同年代の子育ても多くいるため。
- 生活環境が整っているから。
- スーパー、コンビニ、ガソリンスタンド、観光地である。
- 元気なうちは車で出かけることができるから。
- 住み続けたいができれば徒歩で食料品や日用品の買い物ができるところに住みたいとも思う。
- 何不自由なく、職場に近いから。
- できれば今のところに住み続けたいが、不便である。
- 経済的に余裕がない。
- 子どもが成人するまでは住みたい。その後のことは未定。
- 特にこだわりはない
- 昔から文化のある街でとてもすてきだと思います。

##### ②町内の別地域に転居したい

- 土地が借地だから。

- 土地問題で
- 現在、妻の実家に世話になっているため
- 親と同居で手狭だから。
- 農家の跡取りとして家を継ぎ、今は知り合いにすべて農業をお願いしている状態。家の敷地が広く、自分が動けるうちはきれいにしていづもりだが、これから先がどこまで維持していけるのか不安。
- 水害の心配があるため(土砂の心配も)
- 日当たりが悪く、水野でも悪い。
- 広い庭、駐車場を確保できる場所に住みたい

### ③できれば町外に転出したい・町外に転出する予定

- 医療費の窓口負担が小学生からなので、現物払が中学生までのところに住みたいです。医療費を請求するのが面倒です。
- こども医療がほかの町では中学生まで現物給付など差があるため。
- 教育環境の良い場所に移住したい
- 子育て環境が悪い
- 隣近所関係。
- 下水道
- 仕事の時間などから
- 都会に住んでいた時の便利さがこのまちにはないので、金がないので無理ですが県外に行きたいです。
- 生活が不便だから
- 買い物・病院などの生活に不便
- 交通や文化面で都会は便利だから。
- 緊急時の病院、歩いて買い物ができるところ。
- 医療や買い物など高齢化に対し何の改善もされない。過疎化が進んでいる(町の中心部のみ重要視されている町の行政?)
- これから高齢になり車を運転しなくなったら生活していけない。
- 高齢者が住みづらいからです。
- 出ることはできないが老後を考えたととき、不便で人に頼らないと何もできないことが不安。
- 老後への不安
- 高齢になっても生活のしやすい平坦な土地や病院や買い物に困らない場所がよい。
- 福祉の充実と運動ができる場所(広い公園や安全なウォーキングコース等)がない。
- 県外に拠点を置きたい。
- 良いところがなく、つまらない
- 前から考えていたこと。
- 不便、仕事ない、魅力ない、益子焼に興味のあるのは年齢が高めの人だけ。
- 住んでいる脇の道路が公道ではないため修繕費が大変です。
- 将来が見えない。
- 仕事がある町へ
- やりたいことの可能性は東京などの都会で実現できるため。
- 違う人生を生きてみたい。
- 本籍地に戻るため。
- 住み続けたいが、転勤族のため。

### (7)「定住・移住」を促進するために重視する住宅政策について(問17)

- 建替えに対する補助(既存建物解体等への補助金等)
- 計画性のある宅地開発。
- 賃貸物件・土地物件の確保。
- 周囲の市町に比べ安い家賃で質の良い家を貸し出す
- 下水道整備の促進
- 就業環境の整備

- 仕事がない。工場誘致ができるとよい。
- 働く場所、会社、工場がないと住む家を用意してもひとが集まらない。町内にまず働く場をつくるのが先。
- 就労に関する情報。
- 収入を得られる術
- 廃校等を若い作家が共同で使う作業場・アトリエとし、益子で仕事を始めるきっかけを作る
- 近くにスーパー、医療機関があること
- 町の魅力
- 交通手段
- 住宅政策とは別ですが、あたたかく迎え入れることに尽きる。
- 生活環境改善至急
- 住宅ローン返済中
- 人口を増やさないとほしい。
- 今のままで変わりなく定住したい
- なぜ促進するのか理解できません。

(8) 「定住・移住」のための必要なことについて (問 18)

- 2人目の保育料無料。
- 子ども医療費の補助拡充
- 子育て支援の補助、支援の充実
- 子育てしやすくないと若い世代は無理だと思うので、そちらを充実してほしい。
- 企業誘致、工場など。
- 町内での雇用(働き口)を増やす。
- 勤務先の拡充
- 仕事があること、文化施設の充実
- 福祉関係の充実、公共施設の充実
- 下水道
- 自然や景観の保護
- スーパー、仕事、医療
- 自治会をなくす。
- 税の軽減
- 空き家の利用
- 増やすのが善なのですか。

(9) 町有施設に対するお気づきの点について (問 20)

- 公共施設を気軽に使用できる雰囲気ではない。
- もう少し近くに利用できる施設がほしい
- 利用したいが時間がない
- 役場の照明が暗い。
- 茂木・笠間のような図書館がほしい。
- 図書館や学習スペースを充実させてほしい
- 益子町にだけ図書館がない。役場が古く暗い。
- 気軽なスポーツをしたいと思っているが、足が向かない。
- 体育館など利用したいが、情報がないと行動に移せない
- 自分は利用しませんが、子供がチャレンジクラブで利用します。
- 楽器の練習ができるスタジオがほしい。
- 毎年同じような内容の繰り返しのよう感じ魅力がない。
- 利用する要件がほとんどない。
- 家族を持てば利用する
- 利用のメリットなし

(10) 職員の満足度に対するお気づきの点について（問 21）

- 対応や説明が丁寧で満足
- 真面目な職員さん方だと思います。
- 私は中央公民館利用が多いのですが、職員の対応がよく、また行事の時も気持ちよくお手伝いして下さいます。感謝しています。
- 職員の方はよく働いていると思います。
- 職員は一生懸命住民サービスに努めていると思う。先ごろの新聞で給与水準が県内市町で下から2番目、3番目。でも頑張っている。職員に対しては不満はない。
- 以前より対応が良くなった
- 役場職員は町民のためにとてもよくやっているといます。土祭・夜市・陶器市等、休日でも遅くまで仕事をしていて頭が下がります。
- 窓口はスピーディーでよかった。
- 緊張感がない。
- 役場に行ったとき(めったに行くことはない)、職員の方がずーっとパソコンを眺めているだけで何をやるわけではなく、15 分くらい経ったらなんと卒に 1 個だけ数字を入力する姿を見て、毎日自分の時間も働く、親の面倒を見ている私には怒りを感じました。税金はちゃんと納めてますよ。
- 環境整備がよくない。
- 町の職員には言葉が一言多い人がいると思う。言われた人は傷つきますよ。
- 公務員でも接客業と同じで、笑顔が一番だと思います。真顔で対応されても小さな手続きでも行きたくない。
- 気軽に何でも相談できる課があってほしいです。サービス業とは違うから笑顔の対応といっても難しいかもしれませんが、何もわからないで行く私たちからすると笑顔があるだけで違います。
- 独特な雰囲気。笑顔がない。なかには態度のでかい職員もいて行きづらい。
- 町民に対して笑顔がない。
- 役場にいる人は愛想がない人が多いし、空気が悪いのであまり行きたくない。
- 職員のスリム化
- 町職員が多い
- どんな人にも優しく丁寧にしてくれることを希望
- 役場に 3 年前に税金のことで相談に行ったときに怒鳴られたことがある。何様のつもりなんだ、ふざけている、でかい態度しやがって。
- 電話対応の口調が悪かった。
- 電話の出方が職員さんによってよい人、悪い人の差が大きいです。
- 電話の対応も乱暴である。
- 電話対応において、確認が必要であったり、時間がかかりそうなときは、折り返しなどの対応を取ってほしい。
- 親切さはあるが、全体的な視野の悪さを感じる。
- 町職員としてかなり高ぶった気持ちでいるようで、立派なつもりで大したつもりでいる方が見かけられ残念です。人は選ばなくても大したつもりでも見ればわかります。
- 役場に行くと必ず職員同士が私語。職員としての態度が全く感じられない。
- 町民とともにまちづくりを行う姿勢を感じない。
- 町づくり？住民を思う気持ちなど一つも感じたことはありませんでした。一部の人の自己満足で成り立っている町。
- 窓口によって異なる。専門知識に乏しいことは確実な部署もあると思う。スキルアップがないように感じる（法・制度の改正はどんどんあるのについていっているのか疑わしい。情報の取得、そして発信）。
- 職員の知識不足
- 人によりますが、対応が冷たい。
- 窓口に行っても声をかけるまで気づかないふりをされる。絶対に気づいているはず。
- 弱いものが損をしています。特に課長さんたちです。
- 対応される方にもよりますが、対応がよくないことが何回かありました。
- 役場関係は主人が担当

- 相談したことがないのでわからない
- 役場に行くこともないし職員との接点はない。
- 設問は仕事ですので当たり前のこと、私にはわかりません。

## (11) 町政全般に対してのご意見

### ①子育て

- 子どもが喜ぶ施設がない。またおむつが替えられるトイレが少ない。
- 子ども医療費受給を小学校卒業まで現物給付にしてほしい。
- 子を産める世代にお金を
- 子育てしやすい環境整備。
- 子育てにやさしい街づくりをしてほしい。若い人が外へ出て行ってしまうので、芳賀町と同じようにこども医療の充実をしてほしい。子どもが公衆道路で遊んで危ない(ボール遊びなど)。
- 子育て環境・支援(育児に関する補助制度)を良くした方がよい。
- 若い世代の子育て支援を充実させる。
- 少子化の世の中ですが、子供がたくさんいる家庭もあります。子どもにはとてもお金がかかるので児童手当を増やしていただきたいです。また、スマイル通貨などの配布もありがたいです。
- 他地域ようにこども医療等の充実を。
- 未来＝出生率だと思うからこれを優先事項に
- 隣の茂木町が子供2人目の保育料が無料になったと聞き、とても素晴らしいと思いました。移住者を求めるならぜひお願いします。
- 高齢者対策にも力をいれているが、もっと子供を育てやすい環境を整えていただければ人口も増え定住者が多くなるのでは。

### ②教育

- 近年、中学校の部活動に熱が入り休みがありません。家族で出かけることもできません。月に1回は土日の休みがほしいです。また、顧問の言葉づかいの悪さが目立ちます。教育長さんは誰にでも愛想がよく、親しみやすい方で未来ある子供たちのために熱心に教育に打ち込んでくれる方なので安心していきます。
- 田野小のバス通学ですが、体力作りに大切な時期になぜ徒歩通学をさせないのか。バス通学はどこからの要望(住民、学校、町主導)からはじまったことなのか。
- 田野中は生徒数が減少し各学年1クラス、部活も減少しやりたい部活もなく他市町の学校へ通う子もいる。これで「益子町からオリンピック選手を」と言えるのか。田野中では中学校の統合を望む父兄はたくさんいます。なぜ父兄から意見を聞かないのか。統合について真剣に検討していただきたい。

### ③道の駅

- ゴールデンウィーク中道の駅に行く観光バスが東田井の細い道路を何台も通りました。とても危険なので通らないでほしい。
- 新しくできた道の駅のフードコーナーがもう少しメニューが多い方がよいと思います。また、どこで休んだらいいのかわかりません。
- 道の駅オープンしてうれしく思いますが、野菜を充実してほしいと思います。他と比べて値段も高いかと思えます。
- 道の駅が新しくできましたが、モノが高くてあまり「ほしいな」と思うものがなく、レストランの食事の数も少ないため、そばやラーメン等いろいろ増やしてみてもいいですか。
- 道の駅に何か注目を集めるものを用意したらいいと思う。
- 道の駅の案内が少なすぎる。
- 道の駅の建設場所に不満です。道の駅はどれも市街地を避けているイメージですが、あの地域では陶器市で訪れた方たちもアクセスしづらいと思います。似たような理由で不満を持つ友人が周りに大勢いたので書かせていただきました。
- 道の駅の再整備(トイレ・駐車場が足りない)。
- 道の駅は新鮮な地産の農産物・食品を求めていくことが多いが、残念なことにその部分が満たされず何度も行きたいと思わない。1度しか言っていない。



- 道の駅ましこに金融機関のATMを設置してほしい。
- 道の駅ましこの益子らしさのアピール。真岡・茨城・茂木・宇都宮などの商品が目につく。
- 道の駅までが遠い。独特な雰囲気があるがこれというものがなく、パツとしない。
- 道の駅を上手に運営してほしいです。

#### ④就労

- 益子町で仕事を探しているけどないので、もしあったときは求人情報などを出してほしい。
- 近くで働く場所、若い人の働く場所が少ない。
- 若者が働く場所を作してほしい。農家では生活ができない。
- 焼き物以外で県外から移住できるような対策で、企業の誘致等で町外でなく仕事ができるような場。
- 企業誘致などにより若い人が集まりやすい住みやすい街にしてほしい。

#### ⑤観光

- とにかく携帯端末の時代に対応していないのが決定的不備。上水道が整備されていないようなもの。益子の最大の魅力、自然の豊かさを提供していないのが残念。独創的発想力の潜在能力は十分あるはず。汲み取れていない。浅草寺、新勝寺でも今日の発展があるのは電鉄会社が主導したからという経緯がある。魅力ある拠点づくりと民間のタイアップは車の両輪。益子に行ってこれが食べたいというものを開発すること(宇都宮の餃子は30年かかっている)。陶器市での高校生ボランティアの活躍はよかった。期間中観光協会に問い合わせてもだれがどこでやっているのか把握していないので対応できていない。
- 近所にアジサイ山があるのですがもう少しきれいに整備してほしい。お祭りには人が多く出て、お祭り前には青年部の方が整備しますが、通年でみるとほったらかし。土祭などでも多くの人が訪れる場所なので、観光客をがっかりさせないような環境整備をお願いしたい。
- 陶器市を活用できていない。せっかく年に40万人もの人が来るのに、もったいない。城内や周辺の民泊も活用し、夜は飲み屋がにぎわいもって益子の経済を活性化できる。連泊して益子の魅力に気づいてもらえるのでは(今は行き返りの渋滞のイメージが強いとのこと)。
- 陶器市開催時の混雑度は本当にひどい。道路、特に駐車場は何とかしてほしい。町で整備すべきである。個人宅、個人の土地を勝手に利用して駐車場にしているのは本当におかしい。
- 陶器市のおもてなしの仕方(渋滞情報・混雑具合のお知らせ、商工会への指導)
- いろいろなイベントを企画・運営するのはよいと思うが、見切り発車な感じが多い。もっとじっくり検討、吟味をして開催していけば町外からの集客を呼び、町内の人たちも楽しめるのではないかと思う。
- 土祭などのようなイベントを県外に発信して益子町の良さを伝えていくべきだと思う。
- 土祭等は町中心部の方にはいいが、農家や大羽・七井地区では関係ないとの声を耳にする。自治会や地区代表者にもっと理解をしてもらい、住民にアピールできた方がよい
- 土祭など、益子特有の活動をしているのがとても良いと思う。この調子でこのまちにしかない魅力・特産をどんどん見出してほしい。
- 益子の一部だけのイベントではなく、全体でできるイベントを考えてもっと益子を盛り上げてほしい。陶器市だけではなく、長く続けられる行事があるとよいと思います。
- 夏のひまわり、秋のコスモス祭りで町費を使っているようですが、菜の花を植えて油をとる、ひまわり油をとるなど、ただ花祭りをするだけでなく、2次的に実のあるものにしてください。白花そば・赤花そばを蒔き地元産のそばを秋の新そば祭りで食べたいです。
- 生田目の花畑がとても好きです。
- 益子のよいところをPRして町外観光客を増やす。
- 駅～城内坂～道の駅までレンタサイクルがあるといい。
- 益子でのイベントなどをもっと増やす。

#### ⑥商工業

- 町内の農産物や資源を地産地消できるようになるとよいと感じる。茂木町のように木の葉を集めて堆肥を作り販売することで高齢者の就労や健康維持できる。また、その堆肥を利用した作物を作り販売することで集客できる。理想の地産地消だと思う。益子町でも何かそういったもの、仕組みができるとよいと思う。茂

木町では地元でとれるゆずやブルーベリーを使ったジャムも作れたり、バウムクーヘン工場でも地元のコメや卵を使い、地産地消できている。益子でも陶芸だけでなく他のものにも目を向けてほしい。

- 年をとっても買い物に行けるところが近くにあると安心ですね。
- トイレや休憩所、ファーストフード店、衣料品店、靴屋、デパート、100 円ショップなどが足りなく、不便。郵便ポストが近くになくて不便。
- 益子町の人材も食も大事ですが、憩いの場も大事だと思います。以前あった、「海や」のような店舗があればと思います。
- 若者が来るような施設(ショッピングモール等)を作ってほしい。コンビニ・スーパー等を増やしてほしい。
- 100 円ショップがほしい。

#### ⑦図書館

- 図書館というものがない。町がはたして文化都市益子と言えるのか(恥ずかしいこと)。未来都市を目指すのなら、次世代の子供たちの大切な育成の場として図書館は必須。
- 子どもからお年寄りまでたくさんの人が楽しめる図書館があるとよいと思いました。益子の特長を生かした自然やおしゃれなカフェなどが一緒にあるとよいと思います。
- 茂木・笠間のような図書館がほしい。

#### ⑧道路・歩道

- 町内の歩道整備をお願いしたい。道の駅から町内まではまだまだできませんし、益子駅から城内坂までは特に歩行者が安全に歩けるとは言い難いので。
- 共販センターの方は活気があるが、足銀の前のとおりになると活気がなく暗く感じる。道路を広げるなり何か工夫ができないでしょうか。
- 通学路が狭く危険な箇所が多い(特に大羽から町内へ通う道)。安全に通学できるよう改善してほしい。
- 上大羽の道路整備や下水道の整備は町にお願いしたい。
- 歩道の整備・道路の拡大(生田目は危ないです)
- 道路の整備(七井～市貝町の道路)
- メイン道路ばかりきれいにして一歩中に入ると道路が穴ぼこだらけ。道路が狭い。消防自動車も入ってくることができない。陶器市では生活に支障が出る(出勤時狭い道路で渋滞が起こる)。
- 益子中につながる北郷谷方面、磯部商店入口からの道路があまりにも狭すぎる。何十年も変わっていない。
- 道路の整備(歩道の完備)、下水道の完備
- 道路交差点の形(作り)が少し異形なため、右折車が早回りしたり、横断歩道を車がクロスするときに斜めに横切ようになり、視野が狭く、安全確認に不安を感じる。
- 道路整備に関して、道を広げるだけではなく、住民の声も聴いてほしいです。
- 先日救急車を呼びましたが、道が狭くて家まで入れませんでした。たぶん消防車も入れないと思いますから、火事が起きたらと思うと不安です。調査して改善を求めます。
- 観光にばかりお金をかけて道でもなんでも新しくするのではなく、こういうアンケートを行う以上、子供たちの安全のためにたくさん道路を直す、歩道をつくる場所があるはずです。事故にあってからでは遅いので考えてください。
- 外灯(防犯灯)を去年新しくつけてもらいましたが、数が少ないのもう少し外灯(防犯灯)の距離(間隔)を縮めてほしいです。
- 町内の開発ばかり進んでいる。
- 消防分署前の交差点に信号機を設置してもらいたい。

#### ⑨下水道

- 私は大沢(町会は大沢)に住んでいますが、いつごろ下水道は来るのですか。仲間の人はなしではあと 20 年はかかるかといっていますが本当ですか。
- 塙に住んでいるものですが、数年前に下水道に関するアンケートを実施されたと思いますが、その後進展していないのですが、どうなったのですか。また、この先整備予定はあるのですか。困っております。

- 補助金で浄化槽を設置しても敷地内処理で苦労しているところもあると聞く。下水道、側溝などの整備を推進していただければ苦労から解放されるのではないのでしょうか。

#### ⑩環境

- 5/13 は資源物定期回収日でしたが、雨天で搬入とかいろいろ聞きたいと思い役場に電話しましたが通じませんでした。回収ボックスに入らないものを出したかったのですが。
- ポイ捨てをやめさせる取組をしてもらいたい。
- ごみ置き場等は自治会長が動かないと設置されないようですが、話をしてもなかなか進めてもらえないようです。町の方から自治会に設置状況の確認等をし、または町が直接に確認し、設置はできないでしょうか。ゴミ置き場等は網をかぶせているだけでカラスの被害、ごみの量に対して網が小さすぎてはみ出してしまい、道路へ転がってしまう等問題が多々あります。町で大きなゴミかご等の設置を進めることはできないのでしょうか。
- 前の家は住んでいなく、木は生い茂り草は伸び放題。家族の方は何をするわけでもなく、樺の木も伸び放題でカラスが巣をつくりこどもがいるので怖いです。あとは、朝夜中関係なくごみを燃やしている家があります。臭くてたまらない。
- 小貝川河川敷に不法投棄が多いので管理してもらいたい
- 太陽光発電が多くできて悲しい。雑木林が破壊されていて心が痛む。中止すべき。一方で植林などを子どもたちにやらせていながら雑木林をなくす日本人の心がわからない。町長さん中止の方向に考えてください。知事さんにも。
- 暖炉のある家の煙がくさい。
- 周辺山林の荒廃が増し、家の庭にまでイノシシが侵入した。家の周りは草刈り等きれいにと心掛けているが。町でも対策等は行っていると思うが、さらに良くなる方法を希望する。

#### ⑪高齢者

- イベントなどで外部からの収容も必要でしょうが、ボランティアとして元気な高齢者が多い。少しでも賃金をもらえる、仕事がやれる工夫があってもよい(大事なのは、場(施設)や環境を与えるだけでなく、人権と尊厳を守るという基本に立ってほしい)。
- 国民年金で生活する親ですが、耳が聞こえづらくなり、補聴器を買うことになったのですが、最低のものでも7万円します。両耳で14万円です。町で補助金があればよいと思います。介護タクシーも補助金を出してほしいです。道路を治すお金があるなら真岡市のように町内を巡回するバス、西明寺にある病院まで行けるバスを作ってもらいたい。停留所を増やし、高齢者が少し歩けば乗れるようなもの。父親は入院していて、母親は車の運転ができないので、家族が都合をつけて移動させてあげる現状です。仕事も忙しく、自分から外に出てくれるものがあれば幸せです。高齢者世帯は増加し、外に進んで出ない高齢者が多い。せっかくデマンドタクシーに登録しても呼ぶのが面倒だということで利用しない。一度も利用しないうちに無料タクシー券を配布したり声をかけたりして自分から外出するよう促した方がよいと思う。
- 主人が体が不自由なため介護タクシーで通院していますが、料金が高いので大変です。何とかしてほしいです。今一番困っていることです。

#### ⑫健康・福祉

- ヤングミニ健診をお金がかかってもいいので、もっと対象項目(大腸がんや胃カメラなど)を増やしてほしい。
- 医療機関の要望を何度か出しているが改善が見られない。検討願いたい
- 高齢化にともない、充実した医療設備を持った施設、医院を増やしてほしい(リハビリ等)
- 新未来計画は魅力あるまちづくり、人づくりのためぜひ実現させていただきたい政策だと思ってます。その中で、生活する人は健康な人たちばかりではなく、障がい者も多くいますし、障がい者の面倒を見ている人たちもたくさんいます。そのような人たちも益子町に住みたい、この先も住んでいたいと思える福祉の町、優しい町といったところも力を入れてほしい。現状はあまり魅力があるとは感じられません。障がい者を持つとお金も自由もありません。よろしくお願いします。
- 福祉施設の増設。一定の年齢に達したらお泊りや、ディサービスが利用できればよい。

### ⑬自治会・地域

- 自治会という制度は時代遅れ。単身者にとっては面倒でしかない。若い人も嫌う人が多いと思うので、高齢化の原因になる。自治会の役割は自治会費を町がとって町でやってほしい。
- 自治会加入を希望したところ、加入金 45,000 円とのこと。自治会の指導はどこがするのか？他自治会の規約等の資料は役場で知ることできるのか。
- 自治会未加入だが、隣近所の付き合いはしている。転入の際、地域自治会の加入者に話を聞いたが、入っていても意味がない、加入をやめた・やめようと思っているとのことだった。今のところ、困っていない。
- 空き家のガラスが割れていて、危険。怖い。指導してほしい。
- 小宅地区の活動で古墳を中心として PR がすばらしいと思います。上大羽地区にも貴重な文化財があるので、広くお知らせをして、次世代に伝承していきたいものです。
- 年々高齢者が多くなっております。また独り暮らしも多く都会同様なくなっている？昔のようにみそ・米の貸し借りした時代のように一人一人が声を掛け合い、住みよい益子、町民の歌のような益子になることを願います。また、益子焼が世界に広がることを願います。
- 文化財の彫刻屋台の修復をしていただきたいです。古くて壊れそう。彩色が朽ち果てています。ジャッキで丁寧に運航してください。持ち上げたりしないでください。壊れます。

### ⑭公共交通

- デマンドの町外への乗り入れをお願いしたい。
- 高齢者が増えてきた中、運転できる家族は仕事に出る人が多く、高齢者はなかなか出かけることが難しい方が多いです。デマンドタクシーではなく、以前あった町の週に1度走行させるバスが利用しやすいのではないかと思います。利用する人が減ってきたからではなく、高齢者の事故、家族の不安を減らすため、そして高齢者の楽しみを増やすためにもあるとよいと思いました。
- 車の免許がなければ何もできない(どこにも行けない)ので、公共交通機関を充実させ、病院や買い物できる施設を増やしてほしい。
- 免許証返納後の外出手段に困る。

### ⑮移住定住

- 「自給自足をしたい」みたいな都市部の人を呼び込むのが手かもしれません
- 移住定住者を増やすためには子育て世代の満足度を上げる必要がある。ほかで当たり前になっている医療費助成、住宅地あつせん、教育の充実の3つがそろわないといけない。
- 益子に移住したい人は多いのに環境が整ってなくてはいってこれないのはもったいないと思う。人が増えれば全体的にもっと盛り上がっていくのではないかな。土地や賃貸物件をもっと町が入り込んで物件の確保や情報の提供をするとよいと思う。
- 転入者が住みやすいように住宅地の整備を町を挙げて行う。
- 小さな公園があると、若い家族が住みやすくなる。ニュータウンの様な土地が整備されると良い。

### ⑯議会・役場・町職員

- 生活のため、安定のために議員になった人が多すぎるように感じ、意欲に乏しいと感じる。町民を上から目線で諭すような物言いはおかしい。町民はもっと勉強しているし、厳しい目を向けていると認識すべきと思う。新聞を読むことは最低限だが、何のための議員なのか、町民あつてのものだと忘れていないかのよう。町長をはじめ、議員は厳しさがなければ、町役場がどんなに意識意欲を持って仕事にあたろうとしても無理。ただ、本当に相談に行きたい人がいけなくなる。役場では町職員も考えていただきたい。
- マニュアルでなく心ある人として働くべきだろう。
- 各自治会に配布しているチラシ等は無駄が多すぎる。経費削減を言葉だけでなく進め、必要なところに大切なお金を使う。当たり前のことを全員で考えてもらいたい。
- 個人情報流す方がいる。
- 若い方はとても気を使ってくださりありがとうございます。この気持ちをいつまでも忘れないでほしいです。頭のいい方は、いつも控えめで、できるふりもしないところが好きです。心穏やかな益子町であってほしい。厳しい時こそ。

- 町の職員は仕事などは楽な方へまわり自分から大変な仕事はしない。これからは税金の無駄遣いをしないでください。
- 町職員の人数は今の人数必要でしょうか。
- 町長をはじめ町職員の皆様、とてもがんばっていると思います。
- 土曜・日曜ももっと役場を利用できるようにしてください。
- 困りごとの打ち明け先を明確に PR してほしい
- 税の仕組み等わかりにくい点が多い。日ごろから相談しやすい窓口を準備してほしい。

#### ⑰全般

- 益子のことを身近に感じたり知ったりできるメッセージを多く発信してほしい。私でも何かできるんじゃないかって思わせてくれることが大事。
- 議会だよりを毎月読んでいると、毎月どのようなことを進めているかはわかるが、結果・進行状況等を知るのとは一部分。小学校・中学校誌のように町政誌等を回覧で知らせてほしい。
- 空き巣や泥棒が増えています。対策をお願いします。
- 防災無線の整備
- 町民税が高すぎる。安くしろ。
- 田野地区も生活を便利にほしい
- 老いも若きも不安のない町づくりを願う
- 道の駅などの施設等にお金をかけるよりも福祉や教育などに力を入れてほしい。
- 一度町を出て足利に約5年ほどいました。今年益子に帰省しましたが、昔と変わらぬ風景でなぜか安心しました。しかし、自分も家族も年を重ね、高齢者が増えてきたのでやはり前と同じではなく何かしら町の改善は必要ではないかと思いました。何も変わらな過ぎるのも暮らしにくくなってしまいます。本当に良いところだと思うので、町の人々、そして町職員の方たちにもよい思いをして、少しずつ笑顔が増え、もっと良い街になればと思います。
- 益子は歴史とか芸術文化、文化遺産、伝統といった昔ながらのイメージがあると思うので、何か新しいものを取り入れたらいいと思います。
- 益子らしさをいかしたまちづくりになればと思います。若い世代が働きやすい、子供を育てやすい環境の充実を望みます。そうすれば定住する人が増えると思います。
- 益子焼など観光には力が入っているが、学校などの子供を育てるうえでの充実化を希望したい。町長は観光に力を入れている人だとうわさで聞いたりします。現状今日では家族をもって帰郷する魅力がなく、仕事も得る自信がなく、病院においても不便であり、年老いてく両親が心配です。現状では若い人は出ていくばかりで戻りづらいと思います。
- 益子町で仕事がないため人が増えないと思う。せめて周辺の市町での仕事が増えなければわざわざ住もうとは思わない。本当に益子焼しか売れないのだと思う。子どもが少なくなって小学校がなくなり、学校に通うのが大変だから住みづらいという悪循環。
- 益子町に住んでいる若い人たちも年を重ねた人たちも希望につながる町づくりを切に願い、行政、議会の関連する意見が町民目線に立つことを望みます。
- 益子町全体でみれば各地区ごとに差があるように感じます(アンケートをいかしているのか疑問です)。無作為にではなく、町の人々全体の声を聴いて、何が足りて何が足りないのか知りできることから活動してほしいです。
- 若い人が戻ってこようと思える町にして、伝統を大切にしたい。
- 弱者に対して優しい態度、姿勢が感じられればと思います。
- 住民が望んでいることはほとんどやってくれない。イベントの内容、PR(宣伝)が下手。
- 住民が満足できるようなまちづくりをお願いしたい。
- 少子化にともない、育成会による行事も年々減少してきている。近くに学校があるのに文具店やお店が減少して活気がない。交通手段は自家用車のみ。高齢になって買い物に行けなくなったら困るため、もっと若者が集まる施設を増やしていかなければならない。
- 知名度を上げるためのイベントなどよりも、今(以前から)あるものを生かした自然や手仕事を見直したまちづくりを静かに息を長く続けていく方向も一本あっていいと思います。イベント的に仕掛けるよりも地味であっても本物でよいものを続ける方が益子には合うような気がします。

- 陶芸に興味のない人には何の魅力もない街です。近隣の市町(真岡市・清原地区)に移り住む予定です。商業施設ゼロ、小児科ゼロ、ガソリンスタンドは9時開店、働いている人にとっては不便極まりない地区です。家がないから増えないのではなく、何のメリットもない、感じられないからいつまでもたっても発展しないのです。陶芸にいつまでも頼りすぎ。古い。益子町に住んでここがいいと胸を張って言えるところは何ですか。子育てに最適な環境づくりをする。公園、小児科、資金制度を考えてほしい。
- 豊かな自然に恵まれたことに感謝し、環境保全、美化活動に力を入れるよう自治会で、そして一人一人がこれからも益子町が益子町であるように努めるよう前進すべきだと思う。誰もが住みやすく、安心できる環境づくりを考えていく必要があると思うし、高齢者・障がい者の支援、福祉活動は最も力を入れてほしいと感じている。益子町の魅力をもっと引き出してほしいし、一人一人の声を聴き、受け止め、行動に移してほしい。
- 役場や町政にかかわっていた方(元議員の方や町職員など)や事業において関係している会社や団体等だけでなく、いわゆる一般の住民の方々から声や思いを聞く機会を設けているのでしょうか。そこから課題、問題点、改善案などが見えてくることもあるのではないのでしょうか(既に行っているのであれば無知で済みませんでした)。
- 町の借金が多く心配。文化教養施設の充実。
- 近隣(山)ごみ問題 20 年以降後の問題。町の方で指導(所有者への)。下水道の問題、地域ではもう限界です。真岡市清水との町境です。
- 車が必須というのが町を住みにくしている。徒歩であっても最低限の生活ができる地域が魅力的だと思う。
- 子どもたちがストライダーや自転車などが乗れる(練習なども)場所を作してほしい。北公園(七井)も自転車乗り入れ禁止になってしまい、練習する場所がなく、大変困っている。早急に何とかしてほしい。
- 施設の充実と集中化。道の駅の充実。
- 生活している人の質が上がる取り組みをしてほしい。

# 調査票

●あなた自身について

問1. あなたの性別はどちらですか。【○は1つだけ】

|      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2. あなたのお住まい（大字）はどちらですか。【○は1つだけ】

|                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
| 1 益子・城内坂・生田目地区             | 2 埴地区             |
| 3 上大羽・下大羽地区                | 4 七井・大沢・七井中央・北中地区 |
| 5 小宅・戸沼・大平地区               | 6 山本・大瀬戸地区        |
| 7 長堤・上山・前沢・小泉・本沼・梅ヶ内・東田井地区 |                   |

問3. あなたの年齢はどこに該当しますか。【○は1つだけ。5月1日現在】

|           |           |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 2 20歳～29歳 |
| 3 30歳～39歳 | 4 40歳～49歳 |
| 5 50歳～59歳 | 6 60歳～69歳 |
| 7 70歳～79歳 | 8 80歳以上   |

問4. あなたの職業はどれですか。【○は1つだけ】

|              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 1 農林業        | 2 自営業（卸売・小売・製造業・サービス業など） |
| 3 勤め人（会社員など） | 4 公務員・教員・団体職員            |
| 5 家事         | 6 派遣社員・パート・アルバイト         |
| 7 無職         | 8 学生（高校・専門学校などを含む）       |
| 9 その他（ ）     |                          |

※仕事を2つ以上している方は、主な収入源の職業に○をつけてください。

問5. あなたは、益子町に住んで何年になりますか。【○は1つだけ】

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1 5年未満      | 2 5年～10年未満  |
| 3 10年～20年未満 | 4 20年～30年未満 |
| 5 30年以上     |             |

問6. あなたの出身地はどこですか。【○は1つだけ】

|                               |
|-------------------------------|
| 1 生まれてからずっと益子町に住んでいる          |
| 2 生まれは益子町で、一時期は町外に住んでいたが帰ってきた |
| 3 （生まれは益子町以外で）県内の他市町村から転入してきた |
| 4 （生まれは益子町以外で）県外の他市町村から転入してきた |

問7. あなたの家族構成はどれですか。【○は1つだけ】

|            |              |
|------------|--------------|
| 1 単身       | 2 夫婦のみ       |
| 3 親と子（2世代） | 4 親と子と孫（3世代） |
| 5 その他（ ）   |              |

## 新ましこ未来計画アンケート

あなたの声をお聞かせください

町民の皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本町では、平成28年度から5年間の町の経営計画となる「新ましこ未来計画（新未来計画）」に基づき、基本目標・施策ごとに達成目標を設定し、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図り、人口減少を克服するための取組を進めています。

今回のアンケートは、これら新未来計画の成果目標達成に向けて、進捗の状況を把握するとともに、広く皆様からご意見をお伺いするものとなります。一部断片的な質問項目もございますが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、昨年度のアンケート結果は、町ホームページ（ホーム＞町政＞町の計画＞新ましこ未来計画・総合計画 <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page001757.html>）に掲載していますのでぜひご覧ください。

平成29年4月

益子町長 大塚 朋之

この調査は、18歳以上の町民の皆さまから無作為に1,000人を抽出して実施しています。

### ご記入にあたってのお願い

- 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。ご本人が記入することが難しい場合は、家族の方などが代筆してください。
- ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- ご回答は、次の要領で行ってください。
  - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで○印をつけてください。
  - 回答の○の数は、【○は1つだけ】、【○はいくつでも】などとしていますので、それに合わせてください。
  - ご自分の答えが選択肢の中にない場合は、「その他（ ）」を選び、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
  - 一部の方だけに答えいただいた質問もありますが、その場合は説明文に従ってください。

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**5月12日（金）**までにポストに投函してください。

※この調査についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

益子町役場 総務部 企画課 電話 72-8828





新未来計画は、町の様々な取組の中から特に重点的な取組をまとめた2016～2020年度までの「町の経営計画書」で、産業振興、子育て、教育、環境保全などのほか、地域・社会活動、健康増進なども皆さまとともに実施していくこととしております。ここからは、これらの取組の中から、アンケートにより現状を把握するものにつきまして、お尋ねいたします。

●地域への愛着や誇りについて

新未来計画では、住み続ける・住み続けたい価値を高めるため、「地域への愛着や誇りを感じる」町民の方を増やしていくような取組を実施しています。次からの問いにお答えください。

問8 あなたは、地域（自治会、大字程度の範囲）に対して、愛着や誇りを感じていますか。

|   |       |       |   |        |     |
|---|-------|-------|---|--------|-----|
| 1 | 感じている | 問8-2へ | 2 | 感じていない | 問9へ |
|---|-------|-------|---|--------|-----|

問8-2 あなたは、地域のどのようなことに愛着や誇りを感じていますか。

【それぞれ1つに○】

|                        | 感じている | やや感じる | あまり感じない | 感じない |
|------------------------|-------|-------|---------|------|
| 1 自然が豊かなこと             | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 2 景観がよいこと              | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 3 農産物が豊富なこと            | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 4 益子餅など伝統工芸があること       | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 5 社寺・遺跡など文化財が豊富なこと     | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 6 伝統芸能など古い文化が継承されていること | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 7 祭り・イベントが多いこと         | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 8 人付き合いがよいこと           | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 9 多方面に人材が豊富なこと         | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 10 元気な高齢者が多いこと         | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 11 転入者をやさしく受け入れる地域性    | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 12 地域のまとまりがよいこと        | 1     | 2     | 3       | 4    |
| 13 その他（具体的に）           |       |       |         |      |

問9 あなたが住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安を、次の中から選んでください。【○はいくつでも】

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 隣近所の付き合い         | 2 道路の整備         |
| 3 自治会未加入者の増加       | 4 下水道の整備        |
| 5 自治会行事の参加者の減少     | 6 避難場所の整備       |
| 7 若い世代が自治会行事に参加しない | 8 耕作放棄地の増加      |
| 9 家の後継者がいない        | 10 空き家（空き店舗）の増加 |
| 11 高齢者世帯の増加        | 12 子どもの減少       |
| 13 医療施設の減少         | 14 鳥獣害の増加       |
| 15 その他（具体的に）       |                 |

問10 問9で答えた課題や問題点などを仲間や地域で解決する方策があればお教えください。

●地域活動・社会貢献活動について

新未来計画では、持続可能な地域・社会を築いていくため、「地域・社会活動をする（したい）」町民の方を増やしていくような取組を実施しています。次からの問いにお答えください。

問11 あなたは、地域活動・社会貢献活動に参加していますか。または参加しようと思いませんか。【○は1つだけ】

|   |    |        |   |     |        |
|---|----|--------|---|-----|--------|
| 1 | はい | 問11-2へ | 2 | いいえ | 問11-3へ |
|---|----|--------|---|-----|--------|

問11-2 あなたが参加している、または参加しようと思う地域活動・社会貢献活動を、次の中から選んでください。【○はいくつでも。問12へ】

|                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1 高齢者・障がい者の支援などの福祉活動 | 2 子育て支援活動     |
| 3 スケールガードなどの防犯活動     | 4 里山などの環境保全活動 |
| 5 郷土芸能・お祭りなどの伝統行事    | 6 緑や花を増やす美化活動 |
| 7 道路・河川のゴミ拾いなどの清掃活動  | 8 消防団などの防災活動  |
| 9 学習・スポーツなどの生涯学習活動   | 10 自治会などの地域活動 |
| 11 その他（具体的に）         |               |



問 11-3 あなたが地域活動・社会貢献活動に参加しない・できない理由を、次の中から選んでください。【Oはいくつでも。→問 12へ】

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 生活や時間に余裕がない                        |
| 2 | 参加できるところなど、詳しい情報がわからない（きっかけがつかめない） |
| 3 | 地域活動・社会貢献活動に関心がない                  |
| 4 | 健康状態が良好でない                         |
| 5 | その他（具体的に：_____）                    |

問 12 あなたは、自分の住んでいる地域の活動について、どう感じていますか。

【それぞれ1つにO】

|   | 思                   | 思 | 思 | 思 | 思 | 思 | 思 | 思 | 思 |
|---|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | う                   | う | う | う | う | う | う | う | う |
| 1 | 地域活動が活発である          | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |
| 2 | 困っている人を助けあえる        | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |
| 3 | 日頃から防犯のための目配りができている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |
| 4 | 災害が起きてもみんなで助け合える    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |
| 5 | 清掃・環境保全・美化活動に熱心である  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |
| 6 | 伝統文化を継承できている        | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |   |   |   |

●運動習慣について

新米計画では、健康増進のため、「運動習慣」をもった町民の方を増やしていくような取組を実施しています。次からの問いにお答えください。

問 13 あなたには、運動習慣がありますか。【Oは1つだけ】

- |   |    |          |   |    |        |
|---|----|----------|---|----|--------|
| 1 | ある | →問 13-2へ | 2 | ない | →問 14へ |
|---|----|----------|---|----|--------|

問 13-2 「ある」と答えた方にお伺いします。【それぞれ1つにO】

| 継続している期間について |        |   |           |   |       |   |       |
|--------------|--------|---|-----------|---|-------|---|-------|
| 1            | 3か月未満  | 2 | 3か月～1年未満  | 3 | 1年以上  |   |       |
| 運動の頻度について    |        |   |           |   |       |   |       |
| 1            | 1月1～2回 | 2 | 週1回       | 3 | 週2～3回 | 4 | 週4日以上 |
| 1回の運動時間について  |        |   |           |   |       |   |       |
| 1            | 30分未満  | 2 | 30分～1時間未満 | 3 | 1時間以上 |   |       |

●幸福感について

新米計画では、まちの将来像を「幸せな共同体・まじこ」と定め、町民の皆さま一人一人が「幸せ」を感じながら暮らしていただくことを目指しています。「幸せ」の感じ方は人それぞれですが、いくつかのことについてお教えください。

問 14 あなたが「幸せである」と判断するうえで重要と思う事項はなんですか。

【Oはいくつでも】

|    |                     |    |                |
|----|---------------------|----|----------------|
| 1  | 経済的安定               | 2  | 就業（仕事の有無・安定など） |
| 3  | 生活環境・住環境            | 4  | 自然環境           |
| 5  | 福祉・医療               | 6  | 健康状態           |
| 7  | 子育て環境               | 8  | 学校教育環境         |
| 9  | 防災・治安               | 10 | 余暇・文化          |
| 11 | 地域社会とのつながり          | 12 | 家族・友人関係        |
| 13 | 他人の喜びへの貢献（ボランティアなど） | 14 | 夢や目標に向かうこと     |
| 15 | その他（具体的に：_____）     |    |                |

問 14-2 現在の幸福感（「幸せ」の度合い）はどの程度ですか。【Oは1つだけ】

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | とても幸せ     | 2 | どちらかというとき |
| 3 | どちらかというとき | 4 | 幸せでない     |

●定住・住宅について

皆さまの「定住・住宅」に関することについてお尋ねいたします。

問 15 益子町の住みやすさについて、どのようにお感じですか。【Oは1つだけ】

- |      |           |   |           |
|------|-----------|---|-----------|
| 1    | 住みやすい     | 2 | どちらかというとき |
| 3    | どちらかというとき | 4 | 住みにくい     |
| その理由 |           |   |           |

問 16 今後も現在のところに「住み続けたい」ですか。【Oは1つだけ】

- |      |              |   |              |
|------|--------------|---|--------------|
| 1    | 住み続けたい       | 2 | 町内の別地域に転居したい |
| 3    | できれば町外に転出したい | 4 | 町外に転出する予定    |
| その理由 |              |   |              |

問 17 「定住・移住を促進する」ために重視すべき住宅政策はなんだと思いますか。

【Oは3つまで】

|   |                 |   |                 |
|---|-----------------|---|-----------------|
| 1 | 低所得者向け町営住宅      | 2 | 新築（中古）取得に対する補助金 |
| 3 | 町営の宅地分譲         | 4 | 多世代同居リフォームへの補助金 |
| 5 | バリアフリーへの補助金     | 6 | 耐震リフォームの補助金     |
| 7 | 情報・相談窓口の充実      |   |                 |
| 8 | その他（具体的に：_____） |   |                 |

